

平成 21 年度

決 算 説 明 資 料

中 頓 別 町

目次

議会費	2
総務費	3
民生費	18
衛生費	26
労働費	31
農林水産業費	31
商工費	38
土木費	40
消防費	43
教育費	44
特別会計	53

()内の数字は当初予算計上額

議会費

〈議会費〉

(担当：議会事務局)

議会の活動に要する経費 決算額 3,793万円(3,844万円)

この経費は、主として議員の報酬、定例会や臨時会、各委員会等の会議出席に伴う費用弁償に使われる他、町議会の活動状況を広く町民に周知し、議会に対する理解と認識を深めてもらうための議会広報発行費用、議事録作成にかかる会議録調製委託料、事務局職員の人件費などに充てられました。

■議員に関する経費

- 議員の報酬、議員共済負担金・事務費 2,066万円
- 定例会や臨時会、各委員会、研修や視察などの費用弁償 56万円
- 議員公務災害補償組合負担金 4万円

■職員に関する経費

- 事務局職員の給料、各種手当、共済組合負担金 1,448万円
- 事務局職員の普通旅費として 12万円

■事務的経費

- 議会だより印刷費 105万円
- 燃料費、消耗品代 5万円
- 法令集追録代や議会関連雑誌定期購読代 19万円
- 会議録調製委託料 76万円

■その他の経費

- 議長交際費 2万円

【参考】

○宗谷管内町村議会議員年収比較

(平成22年3月31日現在)

町村名	順位	議長 (円)	順位	副議長 (円)	順位	委員長 (円)	順位	議員 (円)
枝幸町	①	4,522,000	①	3,391,500	①	2,987,750	①	2,826,250
浜頓別町	⑤	3,370,500	②	2,969,250	②	2,808,750	②	2,648,250
利尻町	③	3,466,250	④	2,802,500	④	2,655,000	④	2,507,500
利尻富士町	④	3,392,500	⑤	2,728,750	⑤	2,581,250	⑤	2,433,750
豊富町	②	3,575,000	③	2,925,000	③	2,762,500	③	2,600,000
猿払村	⑥	3,250,275	⑥	2,647,785	⑥	2,505,090	⑥	2,362,395
礼文町	⑦	3,139,500	⑦	2,525,250	⑦	2,388,750	⑦	2,252,250
中頓別町	⑧	2,520,000	⑧	2,280,000	⑧	2,220,000	⑧	2,112,000
管内平均		3,404,503		2,783,754		2,613,636		2,467,799

総務費

〈一般管理費〉

(担当：総務課総務グループ)

特別職、一般職員の給与 決算額 37,751万円(39,036万円)

一般会計で支出する職員の給与は、議会事務局職員は議会費、教育長を含む教育委員会職員は教育費、普通建設事業として支弁される分をそれぞれ事業が組み込まれたところで支出していますが、それ以外の職員は総務費で支出しています。

平成21年度は、町長を含め51名(前年度55名)分の給与を支出しました。

臨時職員の賃金 決算額 717万円(679万円)

臨時的な業務に従事する臨時職員の賃金で、2名+1名(2ヶ月)を支出しました。

職員の健康診断委託事業 決算額 210万円(269万円)

北海道市町村共済組合の制度を基本に、3つの検診機関で30歳以上のすべての職員を対象に総合健診を実施しました。

儀式典礼事業 決算額 5万円(10万円)

毎年4月1日に開催する自治記念式で、中頓別町の自治の発展に寄与された方々を表彰して記念品を贈呈しました。

本町開拓の祖である楢原民之助氏の慰霊祭を8月20日に執り行いました。

行政改革推進委員会 決算額 0万円(2万円)

平成17年度に策定した中長期行財政運営計画に基づき、適切に行財政改革を推進していくため、行政改革推進委員会を開催する予定でしたが、開催に至りませんでした。

自治基本条例策定事業 決算額 7万円

町の条例の最高規範に位置づける「自治基本条例」策定について、町民による「自治基本条例策定委員会」で議論しながら、条例素案を検討しました。

職員研修事業 決算額 55万円(160万円)

職員の能力開発を図り、町民福祉の向上、まちづくりを推進していくため職員研修に力を入れています。

・研修機関への派遣研修	旅費等	55万円(150万円)
市町村アカデミー	1名	
市町村研修センター	3名	
北海道町村会	6名	
その他	17名	

・研修機関への負担金等 0万円(10万円)

職員の給与計算システム保守委託事業 決算額 9万円(12万円)

職員の給与支給は、平成8年度に導入した計算システムを運用しています。現在は、その保守に必要な経費を支出しました。

職員の給与計算システム 決算額 238万円

平成8年度に導入した給与計算システムが13年を経過し、サポートが打ち切られることに伴い、システムを更新しました。

宗谷町村会負担金事業 決算額 159万円(161万円)

宗谷町村会は、宗谷管内のすべて町村で組織し町村に共通する課題の解決や情報の収集と提供、職員研修の共同実施などの事業を行っています。その運営に必要な経費は、町村の規模等で決められています。毎年、経費の節減を図り、負担金を削減してきました。

※21年度負担金 172万円

町例規システム事業 決算額 314万円(315万円)

平成17年度から例規集の冊子を廃止し、Web版例規集のみとしています。例規の改正等によるデータの更新費用とシステムの使用料・保守料を支出しました。

職員の健康づくり研修会事業 決算額 0万円(5万円)

職員の健康増進のため、研修会を開催し、健康に対する意識付け、啓蒙を図る予定でしたが、研修会を開催できませんでした。

保護司会事業 決算額 4万円(4万円)

保護観察対象者の社会復帰更正と犯罪の予防に取り組んでいる保護司会に対する補助金です。

自衛隊事務事業 決算額 1万円(1万円)

自衛隊員募集・確保のため自衛隊募集推進協議会と連携して円滑な活動を図りました。

各種負担金事業 決算額 13万円(4万円)

旭川地方自家用車協会、安全運転管理者協議会等への負担金を支出しました。

総務事務事業 決算額 468万円(546万円)

上記の事業の他、総務の一般的な事務を行うために必要な経費です。

〈財政管理費〉

(担当：総務課総務グループ)

わかりやすい予算書の発行

町が行う仕事について、難しい行政の専門用語はなるべく使わないように説明した私のまちのしごとと予算ダイジェスト版を発行し、全戸配布しました。

まちの家計簿（わかりやすい決算書）の発行

平成20年度決算の報告をわかりやすく説明し、町の財政を理解していただく決算書、町の家計簿ダイジェスト版を発行し、全戸配布しました。

個別外部監査委託

決算額 144万円

財政健全化法により、平成20年度決算において、健全化判断比率が早期健全化基準以上となったことから財政健全化団体となりました。このことにより、法律に基づき個別外部監査を実施しました。

〈文書広報費〉

(担当：総務課住民グループ)

広報広聴事業

決算額 200.4万円(252万円)

・ 広報誌なかとんべつの発行

町が抱える様々な問題や課題、町で起こっている出来事などをお知らせしています。年10回の発行。特集などを中心に紙面の見直しを進めながら充実を図りました。

・ 広報なかとんべつ お知らせ版の発行

月2回、健康相談の日程やイベントの開催、行政のお知らせを発行し、住民周知を図りました。

・ 広報広聴活動

町長と町民のみなさんとが、膝を交えて、活発的な議論ができる地域懇談会「町長がおじゃまします」を町内8カ所で開催しました。町内の各団体等から、様々な話題、政策提言等、町民のみなさんからの要望があれば、町長が出向いて対話する「町長を出前します」は要望がなく実施されませんでした。

・ 公共施設見学会

実施できませんでした。

・ 街頭放送の実施

町内の街頭放送を運営する中頓別町街頭放送協会に加盟し、町のお知らせなどを随時放送しました。

〈財産管理費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

役場庁舎維持管理事業

決算額 587万円(602万円)

庁舎の電気料や、電話料など建物の維持管理に関する経費を計上しています。

町有財産維持管理事業 **決算額 801万円(843万円)**

庁舎以外の町有財産に係る損害保険料や建物等の維持管理に関する経費を計上しています。

〈企画費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

総合開発委員会開催事業 **決算額 7万円(22万円)**

第6期総合計画後期実施計画にかかる推進管理、第7期総合計画(次期計画)の策定に向けた考え方に関し本委員会を開催し、議論しました。また、地域づくり研修会開催事業を活用し学習会を開催しました。

委員会の開催(年6回) **7万円**

開拓100年町制施行60周年記念「町内対抗スポーツフェスティバル」運営事業補助金 **決算額 48万円(48万円)**

これまで北緯45度夏まつりにあわせて開催していた三輪車むかで競走大会が競技内容を大幅に変更し、記念事業として開催しました。実行委員会に対して、その運営費の一部を補助しました。

花とみどりのまちづくり推進事業 **決算額 10万円(16万円)**

住民参加を基本に美しく快適で潤いのある生活環境をつくるため、公共施設の花樽やプランター設置の取り組みを通じ、花づくりに楽しむ個人や団体の自主的活動を実施しました。

・花樽、プランター設置事業 14施設 61樽

天北線バス路線維持対策補助金 **決算額 1,882万円(1,987万円)**

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスの運行が開始し、これまで関連市町村で連携を取り連絡調整協議会にて運航バスのあり方や路線の見直しなど様々な対策を検討し、バス路線を維持するために必要な補助を行いました。

・天北線生活交通路線維持分 **534万円**
・天北線生活交通路線維持分(買支え) **1,065万円**
・天北線単独路線維持分 **283万円**

天北線バス定期運賃補助金 **決算額 149万円(167万円)**

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスの運行が開始される際に、通学生の通学費用の軽減を図るため定期運賃に対して補助金を交付しました。

平成15年度までは50%補助してきましたが、16年度は40%、17年度以降は30%に削減しています。

補助実績	平成19年度	28人	142万円
	平成20年度	29人	159万円
	平成21年度	30人	149万円

環境保全活動推進事業 決算額 27万円(102万円)

自然と共生する地域づくりの核として、環境保全活動に取り組みました。

そうや自然学校のプログラム事業と連携を図りながら、町の自然環境の現状を町民自らが調べる活動として頓別川の町民川しらべ活動を実施するとともに、広く環境問題への関心を高めていくため環境教育フォーラムを開催しました。

また、21年度に定められた環境基本計画に基づく環境基本計画策定に向け諸施策を町民主体、町民と行政のパートナーシップで推進していくため、環境町づくり委員会を設置し、環境保全活動に取り組んでいきます。

- ・環境教育フォーラム、頓別川の町民川しらべ活動の開催 24万円
- ・環境審議会 3万円
 - 第1回 7月 4日(土) 6名参加
 - 第2回 8月 29日(土) 14名参加
 - 第3回 3月 27日(土) 10名参加

国土利用計画届出事業 決算額 6万円(7万円)

国土利用計画法に基づく規制、誘導や土地取引の届出事務に要する経費です。

全国過疎地域自立促進連盟負担金 決算額 5万円(5万円)

過疎地域における産業、経済の開発振興と地域住民の生活、文化の安定向上を図る、全国過疎地域自立促進連盟と連携し、過疎地域対策の充実強化を図っています。

北方領土復帰事務 決算額 1万円(1万円)

我が国固有領土である北方四島の返還を求めするため、全道の市町村や関係団体で組織する北方領土復帰期成同盟に加盟し、北方領土問題に対する啓発活動に取り組むとともに、北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議と連携し署名運動を推進しています。

自治会連合会運営補助事業 決算額 137万円(156万円)

自治会の育成指導、相互の連絡調整を図り、住民福祉の増進並びに地域振興発展に寄与することを目的とする自治会連合会に対し補助しました。

- ・各自治会に配分 103万円
- ・広報等の配達分 34万円

北海道消費者行政活性化事業 決算額 204(24万円)

国では、消費者の安全安心を確保するため消費者庁が創設され、情報の一元的な集約・分

析、消費者が必要とする情報の迅速な発信など一元的な消費者行政を推進していくことになりました。消費者に身近な市町村としても消費者行政の活性化に取り組む必要があることから、新たな窓口を設置しこれに必要な事務機器を購入しました。

いきいきふるさと推進事業（いきいきふるさと推進事業費から移行）

決算額 32万円（42万円）

町内に転入された方には、中頓別で生活する上での必要な情報の提供を行いました。

また、子育てに対しては祝い品の贈呈や支援を行い、地域が温かい気持ちで支え合うまちづくりを目指し実施しました。

- ・転入支援事業 2万円
- ・子育て支援事業 30万円（出生祝金 8人 24万円、絵本プレゼント 6万円）

一流の、中頓別づくり事業（一流の中頓別づくり費から移行）

決算額 168万円（188万円）

第6期総合計画「一流の、中頓別づくり」を効果的に推進するため、本計画に掲げる基本理念を実現される事業で、重要性と緊急性が高い事業について「一流の、中頓別づくり推進補助事業」を平成16年度からスタートしています。

補助実績	平成18年度	0件	0万円
	平成19年度	2件	88万円
	平成20年度	3件	127万円

平成21年度は、次のとおり補助しました。

- ・地域ふれあい子どもキャンプ 4万円
- ・開拓100年記念特別事業「町民憩いの広場」整備事業 64万円
- ・セカンドホームツーリズム推進事業 100万円

そうや自然学校事業（政策推進費から移行） 決算額 266万円（363万円）

旧敏音知小学校校舎を拠点に、地域の自然環境をはじめ産業や歴史、さらには地域での暮らし方をテーマにした環境学習会や自然体験ツアーを開催しました。

また、平成21年度に地域活性化交付金を活用し宿泊研修施設に改修しました。今後はプログラムを充実し事業の推進を図ります。

- ・事業費（下記以外） 84万円
- ・施設維持管理費 81万円
- ・インストラクター委託事業 95万円
- ・ガス台購入 6万円

移住定住促進事業（政策推進費から移行）

決算額 17万円（43万円）

平成18年度から北海道移住促進協議会に参画し、移住・定住を促進するための事業に取り組んできています。

これまでは、「おためし暮らし」を中心に取り組み、避暑的な利用を含めた中長期の滞在を増やしてきました。今後もこれを継続するとともに、本格的な移住や二地域居住につながる長期間滞在してもらうための「なかとんべつ住宅」が完成し、移住希望者への情報提供や継続的に活動できる受け入れ態勢の整備に取り組んでいきます。

・移住を進める実行委員会負担金		0万円		
・北海道移住定住促進協議会負担金		5万円		
・旅費等の事務費		12万円		
・おためし暮らし実績	平成18年度	3組	6名	延 54日
	平成19年度	7組	12名	延 147日
	平成20年度	12組	19名	延 251日
	平成21年度	9組	19名	延 392日

森林療法推進事業（政策推進費から移行） 決算額 4万円（7万円）

地域にある豊かな森林資源を活かし森林療法に取り組み、町民の健康づくりを推進し中頓別町らしい地域医療にもつなげるとともに、新しいツーリズムにも活かしていくための検討や試行を行ってきました。

今年度も、NPO法人中頓別森林療法研究会などが取り組む事業とも連携しながら、森林ウォーキングを夏期間（5月～10月）実施し、鍾乳洞や道の駅を活動場所に実施しました。

・消耗品、燃料代	4万円
----------	-----

プロジェクト北の杜事業（政策推進費から移行） 決算額 200万円（300万円）

北海道の創設した地域再生チャレンジ交付金事業に採択された上川管内美瑛町、中川町で取り組む「プロジェクト北の杜」事業は、最終年の3年目を迎え、それぞれの特色ある取り組みを進めるとともに、3町が連携して新しい産業（ライフウエア産業）の創出をめざしてきました。

本町では、二地域居住のためのセカンドホームツーリズム、森林療法を核としたヘルスツーリズムについて町内関係者や団体と事業展開の可能性について検討してきました。

平成21年度の総事業費は600万円を計上し、構成町で負担金として按分し事業を推進しました。三町の共通経費を除いた72万円を本町が主体となって事業を行う予算を組み、実績額は次のとおりです。

・北海道暮らしフェア in 東京ビックサイト参加旅費	11月7日	1名派遣	8.3万円
・地域資源を活かした家づくり講習会～移動式製材機講習～	11月13日	13名参加	7.5万円
・二地域居住希望者の住みやすい住居づくり事業			
テーマ①「北方型住宅で建てる」壁材稚内珪藻土塗り	1月23日	5名参加	8.4万円
テーマ②「なかとんべつ住宅で建てる」フローリングミツロウワックス塗り	1月24日	12名参加	9.8万円

- 「なかとんべつ住宅」展示会 1月30日、31日 約200名来場 11.6万円
- ・「中頓別での二地域居住を進めるパンフレット」 A4版両面印刷 1,000部 26.3万円

中頓別地元学推進事業

決算額 293万円

開拓100年・町制施行60周年を記念して、中頓別の地域資源や地域文化を再発見することにより、地域の魅力に自信と誇りをもちこれからの地域づくりに活かすため、地域住民と情報が共有できるよう事業成果を情報誌としてまとめ、「開拓100年・町制施行60周年記念式典」にあわせ全町民に配付しました。

今後は、環境学習、生涯学習への活用のほか、おためし暮らし滞在者等への情報発信に活用し、交流人口の増加と移住定住促進に繋げていきます。

この事業は、北海道地域政策総合補助金事業の補助(総事業費の2分の1)を受け実施しました。

- ・地域資源調査等委託事業 84万円
- ・地元学ワークショップの開催 11万円
 - 第1回目 8月4日(火) 9名参加
 - 第2回目 8月5日(水) 10名参加
- ・情報誌印刷製本費 198万円

地域新エネルギービジョン 重点テーマにかかる詳細ビジョン策定調査事業

決算額 520万円

平成20年度「初期ビジョン」を策定し、二酸化炭素排出削減を2016(平成28)年度までに1,500t-CO₂/年と目標を定め、本町において活用可能な新エネルギーの検討を行いました。

平成21年度「詳細ビジョン」策定により、有望と考えられるバイオマスエネルギーの導入方策について重点的に検討しました。本町は豊かな森林資源と基幹産業である酪農業から未利用のバイオマス資源が多く排出されており、これらをエネルギー資源として活用することにより、地球温暖化防止対策として役立てるとともに、地産地消のエネルギーとして地域活性化に結びつけることを目的として、導入実現に向け取り組んでいきます。

本事業は、独立行政法人新エネルギー産業技術総合開発機構(NEDO)から補助を受けて実施しました。

- ・策定委員会会議費 4回 24万円
- ・先進地視察調査費(道内1回) 6万円
- ・調査業務委託料 456万円
- ・報告書作成費 22万円
- ・事務費等 12万円

地域づくり研修会開催事業

決算額 65万円

本事業は財団法人市町村振興協会から助成を受けて実施しました。

- ・異業種交流セミナー

「地域資源を活かしたソーシャルファーム企業化研修会

～地元の素材を活かす中頓別ブランドの商品づくり～

2月 9日 (火) 20名参加 25万円

・職員セミナー

「今の時代に求められる「総合計画」～全国に発信するモデルづくり」

7月15日 (水) 23名参加 12万円

・レディスセミナー

「森林療法のための薬膳セミナー

～地域資源を活かしたヘルスツーリズムの可能性を創造する～

8月 1日 (土) 58名参加 28万円

自治会連合会コミュニティ助成事業補助金

決算額 250万円

本町の「開拓100年・町制施行60周年」は、自治会連合会においても大きな節目の年であり、町民の誰もが安心・安全で集え、交流できるシンボリックな憩いの場づくりとして、旧役場庁舎跡地を有効活用し「町民憩いの広場整備事業」を実施しました。

本事業は、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金を受け実施しました。

企画事務事業

決算額 83万円(23万円)

上記の事業の他、事務補助者賃金および普通旅費等企画の一般的な事務を行うために必要な経費です。

地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金事業 繰越明許 決算額 335万円

子どもが健やかに成長できる環境整備を実施しました。

- ・こども館ふれあい公園整備事業

〈地域活性化生活対策事業費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

地域活性化・生活対策臨時交付金事業 繰越明許 決算額 10,189万円

- ・医療機器購入事業 3,843万円

地域住民が安心して生活できる医療対策を推進するため、医療供給体制の整備充実を図りました。

- ・鍾乳洞ふれあい公園利活用高度化推進事業 592万円

地域資源を活かした観光資源開発・観光交流や地域間交流促進のため、園内整備を行いました。

- ・そうや自然学校宿泊研修施設整備事業 2,849万円

既存施設を利活用し、エコツーリズム、体験型観光及び子ども交流プロジェクトの活性化を推進するとともに、地域の雇用やコミュニティ機能の再生を図りました。

- ・廃プラスチック類分別処理設備整備事業 924万円

廃プラスチックの分別回収を推進し、可燃ゴミの減量化と二酸化炭素の削減を図りました。

- ・公営住宅解体事業 268万円
住宅やその周辺環境整備にかかる維持管理経費の削減を図りました。
- ・中頓別町下水道終末処理場浸水対策事業 537万円
浸水からの安全確保のため、終末処理場の防災対策促進を図りました。
- ・神崎牧場草地維持事業 327万円
草地開発から10年以上が経過し、収量及び栄養価の低減が見られることから、適正な土壌改善対策を行いました。
- ・町有林作業道整備事業 184万円
森林資源の利用・整備に必要な作業道整備を推進し、森林機能の再生を図りました。
- ・町有林枝打事業 665万円
人工林の枝打（育林）を実施し、森林機能の向上促進を図るとともに、冬期から春樹にかけての雇用対策促進のため事業を実施しました。

地域活性化・生活対策臨時交付金事業 決算額 4,014万円

地域生活の活性化に資する緊急対策として事業を実施しました。

- ・中頓別町とくとく商品券発行事業補助金 450万円
- ・国保病院設備修繕、更新事業 1,258万円
- ・国保病院X線撮影装置更新事業 1,354万円
- ・旧小頓別消防番屋解体工事 179万円
- ・ピンネシリコテージ外壁塗装工事（6人用） 163万円
- ・ピンネシリコテージ外壁塗装工事（4人用） 115万円
- ・町民センター下水道切替工事 312万円
- ・災害対策用圧雪車キャタピラ購入事業 104万円
- ・教材備品購入事業 79万円

〈地域活性化経済対策事業費〉

（担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ）

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業 決算額 11,261万円

- ・町道改良・舗装事業 1,964.5万円
砂利道、舗装面の老朽化が著しい路線や、横断管の破損により通行が危険な箇所の補修等工事を行いました。
- ・耕作道取付道路拡幅事業 1,970万円
農業の生産性向上や経営の安定化のため、農作業効率促進につながる大型機械導入対策を図りました。
- ・ピンネシリ道の駅改修事業 1,413万円
道の駅の集客力と利用者へのサービス向上を図りました。

- ・ 公用車の環境対応車導入促進事業 467万円
環境保全および低燃費車・省エネ製品普及促進対策として、医療スタッフ移動用車両を環境対応車両に更新しました。
- ・ 安全安心な学校給食施設整備事業 2,472万円
安全安心な学校給食を提供するため、老朽化が著しい給食センターの一部を改修しました。
- ・ 天北厚生園第2ふれあいホーム整備費補助事業 1,310万円
福祉施設整備のよる利用者の雇用機会拡大と利便性向上を図りました。
- ・ 松音知水道布設替事業 1,176万円
防災・安全対策として、安定した給水体制の強化のため、給水管の耐震化に向けた調査設計を行いました。
- ・ 学校情報通信技術環境整備事業補助金 489万円
情報管理の徹底と教育業務の効率化を推進するとともに、地上デジタル移行対策を行いました。

〈地域活力基盤創造交付金事業費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

地域活力基盤創造交付金 効果促進事業 決算額 2,457万円

- ・ 観光看板整備事業 152万円
老朽化した観光案内看板等の整備により、多様化する観光客の利便性向上と観光振興を推進するため、調査業務を委託しました。
- ・ スクールバス購入事業 349万円
少子高齢化や学校の廃校に伴う送迎エリア拡大によるスクールバス運行距離が拡大しているため、ワゴンタイプのスクールバスを購入し、安全な児童生徒の遠距離通学対応の強化が図られました。
- ・ 生活交通路線バス購入事業 1,956万円
通学、通勤や通院等の移動手段である路線バスをバリアフリー化を推進するため、路線バス事業者に補助し、利用者の利便性向上が図られました。

〈生活安全推進費〉 交通安全対策費から名称変更しました

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

生活安全推進事業 決算額 81万円(95万円)

交通指導員事業 64万円

交通安全対策を推進するため、交通指導員を委嘱して活動を推進していたほか、安全啓発活動などを行いました。

また、北海道交通安全推進委員会と連携し安全運動のための資料提供（チラシ、夜行反射材）を受け街頭啓発、事業所訪問活動で配付しました。

- ・ 新1年生交通安全家庭訪問（ランドセルカバー、黄色帽子） 2万円

- ・交通安全車維持費 6万円
- ・町内赤色回転灯電気料 2万円
- ・交通指導員の報酬及び費用弁償 51万円
- ・北海道交通安全推進委員会負担金 3万円

平成21年度の交通指導員出動状況は次のとおりです。

年 月	出動した行事名	出動人員
4/6、4/15	春の交通安全運動 一斉パトライト作戦	14
4/7～4/15	春の交通安全運動 新入学期通学児童街頭指導	15
5/12	中頓別小学校青空教室・街頭指導	2
5/18	中頓別消防団春季消防演習	3
6/15、6/25	交通安全死ゼロ運動 一斉パトロール作戦	13
6/7	鍾乳洞まつり	6
7/11	聖徳太子典	5
7/17	夏の交通安全運動 こぐまクラブ街頭啓発	3
7/21～7/24	夏の交通安全運動 通学児童街頭指導	12
7/18、7/24	夏の交通安全運動 一斉パトライト作戦	14
7/22、7/23	中頓別神社祭典	8
8/2	北緯45度夏まつり	5
8/15	商工会盆踊り	4
8/16	灯籠流し	5
8/20	ふれあい盆踊り	3
8/20	交通事故慰霊祭	2
9/6	町民駅伝大会	3
9/11	ツールド北海道	5
9/24～9/30	秋の交通安全運動 通学児童街頭指導	13
9/18、9/24、9/30	秋の交通安全運動 一斉パトライト作戦	18
9/29	秋の交通安全運動 老人クラブ街頭啓発	5
10/16、10/23	秋の薄暮期交通安全運動 一斉パトライト作戦	13
11/12、11/13	冬の交通安全運動 通学児童街頭指導	6
11/16、11/20	冬の交通安全運動 一斉パトライト作戦	12
1/31	北緯45度しばれまつり	6
合 計		195

※通学児童街頭指導について、土日・祝日の場合は出動しない。

地域生活安全協会補助事業

17万円

地域住民の生活を守る活動に取り組んでいる地域生活安全協会の運営に対し、補助金を交付しました。

〈公平委員会費〉

(担当：公平委員会書記長)

公平委員会の経費

決算額 2万円(2万円)

この経費は、公平委員3名の報酬に充てられました。

〈防災会議費〉

(担当：総務課総務グループ)

防災対策

決算額 1万円(3万円)

防災用発電機を修理しました。

〈バス転換関連施設維持管理費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

天北線バス関連施設維持経費

決算額 341万円(365万円)

バス路線の円滑な運行やバス利用の促進を図るため、バスターミナル等の維持管理にかかる経費です。

〈情報推進費〉

(担当：総務課総務グループ)

中頓別町電子自治体推進事業

決算額 791万円(800万円)

国が進める電子政府・電子自治体に対応し、平成16年度から本町も地域情報化、行政情報化を整備し、合理的かつ効果的な行政事務の改善とサービスの向上を図りました。

これら電子自治体等の機器、システムの保守や維持に必要な経費を支出しました。

システム導入後5年を経過し、機器の故障も多発傾向にあることから、近々に機器の更新が迫られています。

〈開拓100年記念事業費〉

(担当：総務課総務グループ)

記念式典関係

決算額 438万円

開拓100年町制施行60周年を記念した式典を10月4日に開催し、節目の年を祝いました。

記念事業関係

決算額 1,157万円

・環境と調和する芸術鑑賞事業

202万円

札幌交響楽団を招聘し、中頓別小学校でコンサートを開催しました。

・絵本子育てプロジェクト

342万円

子どもたちの健やかな成長に役立つ絵本のほか、書架を購入。絵本の作者を招聘して講演(オーサビット)も開催し、親子で絵本の魅力を再確認しました。

・健康づくり講座

45万円

例年開催している健康づくり講座ですが、開拓 100 年を記念して元力士の「舞の海」を講師として招聘しました。

・ **自然ガイドブック作成事業**

283万円

町内に生息する動植物の実態や自然資源を調査し、中頓別町オリジナルの図鑑を作成し、全戸配布しました。

・ **シンボルマークキャッチフレーズ事業**

34万円

開拓 100 年を記念して、町のシンボルマーク及びキャッチフレーズを公募、決定しました。

・ **なかとんべつ学事業**

188万円

平成 14 年から行っている「地元学」の集大成として「なかとんべつ学」に発展させ、地元の歴史・風土を開拓 100 年の記念誌として編集し、全戸に配布しました。

・ **町民公募事業**

63万円

記念事業を町民に公募し、町民による審査委員会により審査した結果、11 本の事業が認定され、補助金を支出しました。

敏音知山開き事業 5 万円、記念植樹事業 7 万円、ゲートボール大会 5 万円、夏まつり 22 万円、俳句大会 8 万円、バレーボール大会 1 万円、砂金まつり 5 万円、剣道大会 1 万円、バスケットボール大会 4 万円、しばれまつり 5 万円

〈税務総務費〉

(担当：総務課住民グループ)

町税賦課計算電算処理委託事業

決算額 191万円 (205万円)

住民税、固定資産税の課税計算、納税通知書作成事務等を民間委託しました。

町税業務

決算額 64.4万円 (93万円)

住民の暮らしの充実や環境整備を行うための必要な町財源として町税の賦課徴収を行うための経費で、主に納付書や封筒の印刷や更正申告の還付金等を支出しました。

北海道共同利用型エルタックス審査システム構築事業

決算額 197.4万円

公的年金支払者のデータを受取するためのシステム構築業務を民間委託しました。

〈戸籍住民登録費〉

(担当：総務課住民グループ)

戸籍事務事業

決算額 30万円 (37万円)

戸籍法に基づき、戸籍・除籍・改製原戸籍の管理及び発行業務を行いました。

住民事務事業

決算額 97.7万円 (111万円)

住民情報システムとは、市町村における住民の居住環境の公証、選挙人名簿の登録その他住民に関する事務処理の基礎となるもので、住民に関する記録を正確かつ統一的に行うシス

テムの保守管理業務を委託しました。

外国人事務事業 **決算額 0.3万円(1万円)**

外国人登録協議会を通じて道内各町村と連携して業務の向上改善を図りました。

〈統計調査費〉

(担当：総務課住民グループ)

各種統計調査の実施 **決算額 50.5万円(70万円)**

・学校基本調査

0.8万円

文部科学省が毎年行う学校の生徒数などの実態を把握する調査を実施しました。

・工業統計調査

3.6万円

経済産業省が毎年行う工業（製造業）の実態を把握する調査を実施しました。

・平成21年経済センサス基礎調査

11.6万円

全産業分野のすべての事業所、企業を対象に経済活動の実態を把握する調査を実施しました。

・2010年農林業センサス

25.9万円

農林水産省が5年に1度行われる農林業者の実態を把握する調査を実施しました。

・平成22年国勢調査調査区設定調査

8.6万円

総務省が5年に一度全国で一斉に行う国勢調査が平成22年10月に予定されているため、今年度はその調査区の設定調査を行いました。

〈監査委員会費〉

(担当：監査委員書記)

監査委員の経費 **決算額 81万円(84万円)**

この経費は、監査委員2名の報酬や監査業務に伴う費用弁償などに充てられました。

〈選挙管理委員会費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

選挙管理委員会の経費 **決算額 115万円(71万円)**

この経費は、地方自治法第181条の規定より設置した選挙管理委員（4人）の報酬、費用弁償、選挙啓発の経費などに充てました。

平成21年度は、臨時事業として国民投票法に係る投票人名簿システムの構築に46万円を支出しました。

〈衆議院議員選挙費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査 **決算額 314万円**

平成21年8月30日に執行された第45回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査

の投開票事務に必要な経費を支出しました。

民生費

〈社会福祉総務費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

戦没者慰霊祭開催事業

決算額 7万円(9万円)

戦争によって亡くなった中頓別町の戦没者に対し、追悼の意を表し恒久平和への誓いを新たにするため、6月3日に開催し、遺族17名、来賓29名の参列者で行われました。

社会福祉協議会運営補助事業

決算額 654万円(654万円)

社会福祉協議会の運営に係る経費の一部を助成します。中頓別町遺族会に対する助成も含まれています。

民生委員協議会運営補助事業

決算額 182万円(188万円)

民生委員・児童委員で構成する中頓別町民生委員協議会に対し、その運営費の一部を補助します。(20万円) この補助金は、民生委員協議会活動推進費負担金として全額、道から補助されています。

民生調査委員に対する、報酬及び費用弁償等として支出しています。〔162万円〕

高額療養費一部負担金貸付事業

決算額 0万円(200万円)

中頓別町国民健康保険の被保険者が高額な療養費を医療機関に支払う際に一時的にその一部負担金を貸付します。

本年度は貸付希望者がいなかったことから、決算額は0円となっております。

社会福祉総務事業

決算額 25万円(34万円)

日本赤十字宗谷支部中頓別分区補助事業

決算額 39万円(60万円)

中頓別分区が日本赤十字社を通じて自動体外式除細動器(AED)5台を購入し、小学校、中学校、町民体育館、こども館、介護福祉センターに設置しました。その事業費の不足額を補助しました。

障害者自立支援給付事業

決算額 2万円(4万円)

認定審査会の委員報酬及び認定調査のための旅費で、認定審査会は2回の開催、認定調査は3回行いました。

〈老人福祉費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

敬老会開催事業

決算額 56万円(66万円)

75歳以上の高齢者を対象に9月15日に町民センターで該当者151名来賓10名の出席により経費の削減を図りながら敬老会を開催しました。

喜寿を迎える方23名には、記念写真の贈呈を行いました。

高齢者等スポーツレクリエーション大会開催事業

決算額 6万円(7万円)

町内に居住する65歳以上のお年寄りや身体障害者及び知的障害者の福祉活動の一環として、軽スポーツ活動を通し、健康増進と融和・親睦を深めるため、10月8日に開催しました。平成17年度から参加費の廃止、昼食費の抑制を図っております。

敏音知温泉入浴券交付事業

決算額 90万円(98万円)

町内に住んでいる70歳以上のお年寄りや心身障害者(1・2級)、知的障害者の憩いの場の提供と心身の健康増進のために、入浴券を交付しており、平成21年度では延べ4,077人が利用しておりますが、平成20年度との比較では延べ134人が減少となっております。

入浴料330円のうち、160円(入湯税含む)が自己負担となります。

高齢者乗合自動車無料乗車券交付事業

決算額 92万円(92万円)

町内の75歳以上のお年寄りに町内のバス路線区間に限り無料乗車券を交付しました。

この事業は、宗谷バスに1ヶ月当たり77千円で委託して実施しています。

給食サービス事業

決算額 65万円(65万円)

町内に住んでいるお年寄りや、一人暮らしの方を対象に、週3回の夕食を配食しています。

偏食防止や安否確認にも役立っており、利用者負担額は500円です。

この事業は、社会福祉協議会に委託しております。

除雪サービス事業

決算額 145万円(145万円)

一人暮らしのお年寄りや、お年寄りだけの世帯で、積雪による外出の不安や、冬期間の生活環境支援のために、除雪に係る労力を確保できないと認める世帯に対して、積雪時に玄関前など住宅周辺の除雪を行います。

この事業は、社会福祉協議会に委託しており、平成21年度は30世帯がサービス対象となり、玄関・ベランダ・屋根の除雪サービスを行いました。

生きがい活動支援通所事業

決算額 0万円(5万円)

デイサービスセンター長寿園において、生きがい活動援助員を配置し、利用対象者のニーズ及び身体状況に応じ、きめ細かなサービスを提供します。

平成21年度は、利用実績がありませんでした。

老人クラブ連合会運営補助事業 **決算額 32万円(32万円)**

老人クラブ連合会の運営に係る経費の一部を助成しました。

このうち、3分の2が道の補助金となっています。

高齢者事業団運営補助事業 **決算額 60万円(60万円)**

高齢者の能力や経験を生かし、希望する仕事を通じて生きがいの充実や社会参加が図られるよう高齢者事業団が組織され、高齢者事業団の運営に係る高齢者事業団開拓員活動事業に対し助成しました。

このうち、2分の1が道の補助金となっています。

在宅老人デイサービスセンター等運営事業

決算額 1,210万円(1,210万円)

在宅老人デイサービスセンターは、在宅の要援護老人等に対し、通所の方法により各種サービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図っています。

この事業は、社会福祉法人南宗谷福祉会に委託しています。

平成21年度の利用者は、452人(延べ2,591回)でした。

建設資金償還金補助事業 **決算額 739万円(739万円)**

社会福祉法人南宗谷福祉会が平成9年度にデイサービスセンター・在宅介護支援センターを建設した際に借入れた長期借入金の償還金に対する補助をしました。

この事業は、社会福祉事業法及び中頓別町社会福祉法人の助成に関する条例に基づくものです。平成29年度までの償還で、平成21年度は元金6,170千円、利息1,222千円の償還となっています。

老人ホーム入所事業 **決算額 8,878万円(9,120万円)**

町内外の養護老人ホームに入所している方の入所費用を支出しています。入所者本人と扶養義務者は所得に応じた費用負担があります。

平成22年3月末日現在の養護老人ホーム長寿園の入所者は55名で、そのうち、40名が中頓別町の措置者となっています。

老人福祉事業 **決算額 2,814万円(3,076万円)**

後期高齢者医療広域連合療養給付費市町村負担金や心配ごと相談事業委託料(社会福祉協議会)などを計上しています。

療養給付費負担金の実績は、28,065千円で、心配ごと相談事業委託料は、72千円です。

福祉ハイヤー助成事業 **決算額 8万円(8万円)**

福祉ハイヤー助成乗車券の印刷経費で、280冊作成しました。

訪問介護サービスセンター運営事業 **決算額 952万円(952万円)**

在宅者の要介護老人及び障害者等に対して、ホームヘルパーを派遣する事業として、訪問介護サービスセンターの運営を社会福祉法人南宗谷福祉会に委託している経費です。

平成21年度の利用者は、225人(延べ1,269回)でした。

緊急通報システム事業 **決算額 3万円(5万円)**

新規に緊急通報システム設置する場合の経費2台分を計上しています。

平成21年度では、2台設置しました。

〈障害者福祉費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

障害者自立支援給付事業 **決算額 5,207万円(6,361万円)**

障害者自立支援法に伴い、障害者の施設入所費やグループホーム等、及び短期入所や児童デイサービスといった障害福祉サービス費等に係る費用分を支出しています。

4月1日現在の入所者数は、

知的障害者施設入所者数	町内施設 9名、	町外施設(4施設)	6名
一体型共同生活事業所	町内施設 2名	町外施設(1施設)	1名
身体障害者施設入所者数		町外施設(2施設)	2名
短期入所利用者数		町外施設	1名
児童デイサービス利用者数		町外施設	2名

日中一時支援事業 **決算額 1万円(7万円)**

障害者自立支援法に基づき、在宅の障害者(児)が、町が委託した指定事業所で過ごせる事となり、家族への支援等を目的としています。

平成21年度では、1名で2日間利用しております。

障害者補装具給付事業 **決算額 25万円(76万円)**

身体に障害がある方の日常生活の向上のために、失われた身体機能を補う用具の交付や修理に対して給付します。

平成21年度では、電動車イス1件、靴型装具1件、松葉杖1件を給付しております。

自立支援医療(更正医療)給付事業 **決算額 52万円(104万円)**

体に障害がある方の障害を取り除いたり軽減したりすることで、日常生活が容易になるよう行われる医学的処置、薬剤、治療、材料などの給付を行う医療費の一部を助成しました。

人工透析を受けている方などに給付されます。

〈災害救助費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

災害救助事業

決算額 0万円(200万円)

暴風、豪雨等の自然災害により死亡された町民の遺族に対する災害弔意金や被災世帯の生活の立て直しのための災害援護資金の貸付を行うための経費です。

平成21年度は、実績がありませんでした。

〈重度心身障害者特別対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

重度心身障害者日常生活用具給付事業

決算額 111万円(174万円)

在宅の重度身体障害者に対して、浴槽や特殊寝台など日常生活用具の給付や貸し出しをします。

平成21年度では、ストマ用装具10件、移動用リフト1件、特殊便器1件、透析液加温器1件を給付しております。

重度心身障害者医療給付事業

決算額 947万円(975万円)

心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫の機能障害である1級から3級の障害に該当している方などの医療費の一部を助成しました。

平成21年度3月末現在身体障害者認定者数 1級27人、2級28人、3級26人となっています。

〈地域福祉対策事業費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

福祉電話設置事業

決算額 2万円(2万円)

一人暮らしのお年寄り(65歳以上)及び重度障害者(1～2級)の方で、電話を設置していない世帯に対し、電話機の設置や基本料金の助成をします。なお、事業は廃止となっており、既得権で1名に助成しています。

福祉ハイヤー助成事業

決算額 188万円(241万円)

重度肢体不自由者等、70歳以上の高齢者(一部制限があります)の通院などが容易になるように、タクシーチケット(1枚500円)を交付しています。交付枚数は、重度肢体不自由者等には年間48枚、高齢者には年間24枚で、公共交通機関のない地区に居住している方には48枚交付しています。

自家用車を所有している方の配偶者(70歳以上)にも年間12枚交付します。

年度途中での交付該当者は、年間交付枚数を月割で交付しています。

平成21年度は、5,128枚を交付して、3,791枚(73.9%)利用されました。

緊急通報システム事業 **決算額 120万円(144万円)**

ひとり暮らしのお年寄りや身体の不自由な方などの、増え続ける独居世帯者の安心を確保するために、緊急通報システム端末を貸与しました。

平成21年度末緊急通報システム委託台数	安全センター	24戸
	健康づくり財団	11戸

〈介護福祉センター費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

介護福祉センター管理事業 **決算額 262万円(317万円)**

介護福祉センター及び保健センターの維持管理経費に充てました。

〈介護予防費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

介護予防支援サービス事業 **決算額 57万円(60万円)**

介護保険法に基づく、介護予防支援サービス（予防ケアプランの作成、サービス事業者との連絡調整等）を行うための経費を支出しました。

〈児童措置費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

児童手当支給事業 **決算額 925万円(980万円)**

児童を養育する方に、手当を支給しました。

小学校6学年修了時までが支給対象です。また、平成19年度より3歳未満の第1子、第2子の金額が1万円に引き上げられました。

平成21年度	児童手当給付人数	被用者	190人	非被用者	30人
	特例給付人数		9人		
	小学校修了前特例給付人数	被用者	1,030人	非被用者	182人

〈ひとり親家庭等医療給付費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

ひとり親家庭等医療給付事業 **決算額 33万円(79万円)**

ひとり親家庭等の健康の保持を図るため、医療費の一部を助成しました。

〈次世代育成支援対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

次世代育成支援対策事業 **決算額 51万円(51万円)**

中頓別町認定こども園では未来を担う子ども達の為に、地域に開かれた認定こども園として、積極的に老人福祉施設等世代間交流事業を取り入れ、施設との交流を深めながら老人を

敬ったり尊んだりする豊かな人間性を目指し、年5回老人福祉施設との交流を進める予定でしたが、感染症流行等の影響を受け4回の交流となりました。

また、町内の子ども達の健やかな成長ぶりを見守ったり、中頓別町認定こども園園児が普段接することの少ない小学生・中学生・町内在住の高校生との交流を持つことによって、社会性・協調性を養うために、認定こども園が地域の子どもの交流の場となり、年10回以上の異年齢交流事業を行いました。

報償費 15万円

需用費 36万円

事業名	交流区分	内容	参加人数
保育所地域活動事業 (世代間交流) (異年齢児交流)	世	花壇作り	21名
	世/異	運動会	130名
	世/異	クリスマス会	128名
	世	遊戯発表会慰問	感染症予防の為中止
	異	絵本パフォーマンス	85名
	異	畑作り	35名
	世/異	しめなわ作り	35名
	世/異	ふれあい盆祭り大会	140名とその他町民
	異	キッズエアロビ	49名
	異	夏休み体験学習会	3名
	異	観劇会	60名
	異	放課後交流(随時)	26名

〈児童福祉施設費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

児童福祉施設事業

決算額 12万円(14万円)

神社公園の草刈りや小頓別公園の維持管理(小頓別自治会へ委託)をしました。

〈乳幼児医療費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

乳幼児医療給付事業

決算額 89万円(202万円)

乳幼児医療費の一部をその保護者に助成することにより、疾病の早期診断と早期治療を促進し、乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成しました。

1. 対象者 入院、通院とも就学前まで
(6歳に達する日以後の最初の3月31日までの方)
2. 自己負担 1割負担
月額上限 入院 44,400円

通院 12,000円

3歳未満児及び市町村民税非課税世帯は初診時一部負担金のみ。

〈保育所費〉

(担当：こども館)

保育事業 決算額 937.8万円(1,058万円)

保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場です。このため、保育所の保育は専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、子どもの状況や発達過程を踏まえ、保育所における環境を通して、実情に応じた創意工夫のある養護及び教育を一体的に提供してきました。

〈こどもセンター費〉

(担当：こども館)

放課後児童対策事業 決算額 7.6万円(11万円)

労働等により保護者が昼間家庭にいない小学生を対象とし、適切な遊びや生活の場を与えて指導し、児童の健全育成を図ることを目的とし、保護者や学校との連携を図り事業を進めてきました。

誕生会

クリスマス会

父母会活動(懇談会年3回、町内クリーン作戦、こどもセンター事業に参加)

こどもセンター事業 決算額 245.4万円(279万円)

こどもセンターは地域児童の心身の健全育成をねらいとして、他機関と連携をしながら、自然、製作、伝承遊び、お話し会等年14回の事業を実施してきました。

〈幼児クラブ費〉

(担当：こども館)

幼児クラブ事業 決算額 22.2万円(37万円)

保育に欠けない家庭の3歳児から就学前の幼児の短時間保育を保育所園児とあわせて一体的な保育として実施しています。

〈地域子育てセンター費〉

(担当：こども館)

地域子育て支援事業 決算額 25.6万円(37万円)

子育て中の家庭への支援を目的とし、遊びの提供や各種講演、講座、広報誌等を通し、子育ての情報提供や相談事業を進めてきました。

講演会(年1回)

講座(年4回)

遊びの広場（月3～7回）
 子育てサロン（月1回）
 子育て相談事業（随時）
 絵本、育児用図書貸出（随時）
 保健師との連携（随時）

衛生費

〈予防費〉

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

予防接種事業

決算額 310万円(229万円)

予防接種法に基づき定期の予防接種（ポリオ生ワクチン、三種混合ワクチン等）を医療機関に委託し実施しました。

21年度、高齢者・児童の季節性インフルエンザおよび高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種を受ける方に費用の一部助成を開始しました。

21年春からの新型インフルエンザの流行に伴い、国が実施主体となった新型インフルエンザワクチン接種事業が円滑に実施されるよう、関係機関との調整、住民周知、低所得者・高齢者・児童等に対する費用の一部助成等を行いました。

事業名	接種者数
ポリオ	延べ18人
BCG	10人
3種混合	延べ43人
2種混合	10人
麻しん・風しん	60人

事業名	助成者数
インフルエンザ	586人
肺炎球菌	44人
新型インフルエンザ	391人

感染症の予防事業

決算額 5万円(14万円)

感染症法に基づく結核検診および北海道エキノコックス症対策実施要領に基づくエキノコックス症検診（1次検診）を行いました。65歳以上を対象とした結核検診は5名、小学生、中学生、一般を対象としたエキノコックス症検診は44名受診しました。21年度は検診による感染症の発見はありませんでした。

特定疾患交通費助成等事業 **決算額 1万円(5万円)**

特定疾患で通院されている方の交通費の助成（非課税世帯のみ対象）を延べ7回分
行いました。

また、在宅での生活を支えるために、南宗谷の関係者・保健所などで南宗谷難
病医療システムが立ち上がっており、専門医による医療体制（神経内科外来・リ
ウマチ外来）がととのっています。

保健予防事業 **決算額 46万円(48万円)**

保健予防全体に係わる事業（会議・研修、車両維持等）に要する経費を支出しました。

〈老人保健費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

老人保健事業 **決算額 135万円(138万円)**

健康増進法に基づく事業（会議・研修、システム保守、車両維持費他）に要する経
費を支出しました。

健康診査事業 **決算額 48万円(89万円)**

健康増進法に基づく健康増進事業（骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診）の他、同法施行
規則に定める健康診査及び保健指導を実施しました。保健指導は法で定める対象以外にも
行っており、生活習慣病の予防にむけた取り組みを実践している人が増えています。

骨粗鬆症健診時は保健指導・栄養指導をあわせて行っていて、食事や栄養を含めた生活
の振り返りにつながっています。脳ドック健診時医師による講演を毎年行っており、脳血
管疾患の予防や早期発見につながる知識が多くの方に普及しています。

事業名	実施回数	受診者数
特定健診（生保）	5回（6日間）	2人
健康診査（後期高齢）	5回（6日間）	35人
肝炎ウイルス検診	5回（6日間）	5人
骨粗鬆症検診	1回（2日間）	53人
脳ドック	1回（3日間）	90人

がん検診事業 **決算額 282万円(334万円)**

病気の早期発見のために各がん検診を実施し、必要な方には精密検査等勧奨しまし
た。

過去10年間で15名の発見がんがありました。

平成21年度は女性特有のがん検診事業を実施、一定の年齢の方（乳がんは40歳
45歳50歳55歳60歳、子宮がんは20歳25歳30歳35歳40歳）を対象に、
乳がん検診・子宮がん検診にかかる検診手帳および無料クーポン券を発行し、受診勧

奨しました。

クーポン券を受け取った人で乳がん検診を受けた人は41%、子宮がん検診を受けた人は25%で初回受診者の増につながっています。

事業名	実施回数	受診者数
胃がん検診	5回(6日間)	199人
肺がん検診	5回(6日間)	200人
大腸がん検診	5回(6日間)	201人
子宮がん検診	1回(1日間)	69人
乳がん検診	2回(1.5日間)	110人
前立腺がん検診	3回(5日間)	20人
喉頭がん検診	1回(1日間)	26人
がん検診計	23回(28日間)	825人

健康教育事業

決算額 93万円(107万円)

各地区等での健康相談や健康教室などを通して、より健康的な生活が継続できるように支援しています。自主的な活動や住民自身が健康運動を推進するための支援もしています。

20年度から2年間健康づくり財団の援助を受けて、すこやかロード認定事業を開催してきました。中頓別町の財産であるすこやかロードを活用した事業に多くの住民が参加し、森林の効用を体感しました。

またリハビリ教室などを通して、閉じこもり予防、介護を要する状態になることを予防してきました。全国的な傾向と異なり中頓別町では介護を必要とする人が減少していますが、その要因として積極的に外に出て体を動かすなど健康に配慮した生活習慣を持つ住民が増えていることがあげられます。

事業名	実施日	実施回数	参加者数
リハビリ教室	毎週2回(火・金)	84回	延べ 1289人
いきいき健康教室	冬期間各地区巡回	13回	延べ 61人
はつらつ広場	月1回	10回	延べ 57人
誰でもできる簡単エアロビクス	毎週2回(火・金)	86回	延べ 780人
アクアビクス	7月～8月(月・木)	16回	延べ 28人
さくらんぼの会	年4回	4回	延べ 14人
食生活クラブ	年10回程度	11回	延べ 114人
第33回健康づくり講座	2月15日	1回	321人
寝たきり知らずの健康講座	1月29日3月7日	3回	延べ 83人
たいそう元気会	毎週1回(水)	45回	延べ 613人
すこやかロード普及事業 (森林ウォーキング・講演会)		7回	延べ 186人
その他の健康教育	随時	35回	延べ 775人
健康相談	各地区・職場等	525回	延べ 1285人

歯科保健事業

決算額 52万円(56万円)

80歳で20本、自分の歯を持つことで、さらに豊かな生活ができると言われていきます。8020さわやか健診を継続してきたことで、60歳代のむし歯の減少や、一人あたりの平均現在歯数が顕著に増加してきていることがわかりました。実際に80歳以上で20本以上の歯を持つ方は平成21年度は3名健診で確認しています。

幼児・学童・生徒にブラッシング指導を行い、むし歯予防・歯周病予防ができるように支援しました。子供たちの歯は永久歯の虫歯の本数、むし歯になった人の割合とも大きく減少しています。

歯科保健推進会議では、関係者で学習会を行うなど、関係機関との連携がとれています。

事業名	実施回数	受診者数
8020さわやか健診	9回	117人
ブラッシング指導	6回	220人

〈母子衛生費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

母子健診事業

決算額 159万円(104万円)

乳児健診・1、6歳児健診・3歳児健診などではほぼ全員が受診し育児に対する援助ができました。必要時、精密検査票を発行し医療機関の受診等を勧奨しました。

妊婦健康診査について、平成21年度妊婦健康診査臨時特例交付金により、助成回数が1人14回と増え、適正な受診につながっています。

事業名	実施回数	受診者数
妊婦健康診査助成	随時	延べ 133人
乳児健診	4回	延べ 32人
1、6歳児健診	4回	10人
3歳児健診	4回	14人

母子歯科保健事業

決算額 6万円(10万円)

1. 6歳時健診、3歳児健診の際に歯科検診が行われています。

歯科検診・フッ素塗布では幼児の他、学童も受診できる体制となっています。むし歯予防のための薬の塗布と歯科指導、保健師・栄養士による相談等を年3回行って、21年度は延べ197人が受診しました。これらの取り組みから、幼児および学童のむし歯が減少しています。

母子健康相談

決算額 3万円(5万円)

乳幼児がすこやかに成長し安心して子育てができるよう支援しています。

幼い子どもを持つ母親の自主活動も活発に活動しています。また、子どもを通して

母親同士のつながりもできてきています。

事業名	実施回数	参加者数
乳児相談	8回	延べ 21人
にこにこクッキング	1回	2人
離乳食教室	4回	10人
ひよっこクラブ	20回	延べ 213人

〈環境衛生費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

一般廃棄物処理事業 決算額 1億97万円(1億173万円)

一般廃棄物処理については、可燃ごみ及び生ごみは、南宗谷衛生施設組合において処理し、リサイクル及び不燃ごみの処理は、町において分別収集をしました。

- ・ 南宗谷衛生施設組合負担金 6,773万円
- ・ ごみ処理事業(収集・埋立処分場管理等)委託料 3,088万円
- ・ その他ごみ袋購入、販売委託料等 236万円

環境衛生事業 決算額 5万円(18万円)

住みやすい環境の確保のため、環境美化として花苗の購入や有害駆除(スズメバチ等)を行いました。

〈墓地火葬場費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

墓地火葬場維持管理事業 決算額 128万円(142万円)

町内に設置されている5ヶ所の墓地と火葬場1ヶ所の維持管理に要する経費で、墓地管理人の配置や火葬業務等の委託、火葬炉の保守点検業務を行いました。

〈診療所費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

歯科診療所施設整備 決算額 145万円(176万円)

歯科診療所の施設整備を行い、充実した地域の歯科保健、歯科診療ができるように支援しました。

- ・ 歯科診療所屋根塗装工事等

〈地域保健対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

地区組織活動 決算額 38万円(43万円)

各地区から推薦された保健推進員と一緒に健康づくりを行いました。
健康づくり講座・各地区健康相談などの活動も定着してきています。

健康カレンダーは毎年春に印刷し全戸配布しています。

労働費

〈労働諸費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

ふるさと雇用再生特別交付金事業 決算額 1,348万円

雇用失業情勢が厳しい中、国からの交付金により補助し、創意工夫を凝らしながら、地域求職者等の雇用の場を確保する取組みを行い、地域における継続的な雇用機会の創出を図りました。

- ・なかとんべつ森の癒しとヘルスツーリズムプロジェクト推進特別整備事業 400万円
- ・地域資源を活かした社会的企業化（ソーシャルファーム）創出事業 663万円
- ・地域における保健福祉医療の総合支援サービス事業 285万円

緊急雇用創出推進事業 決算額 407万円

厳しい雇用情勢を鑑み、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対し、国からの交付金により補助することにより、次の雇用までの短期間の雇用・就職機会の創出を図りました。

- ・農業用排水路管理台帳作成業務事業

農林水産業費

〈農業委員会費〉〈農業者年金費〉

(担当：農業委員会事務局)

農業委員会活動促進事業 決算額 222万円(228万円)

- ・農業後継者パートナー対策事業

将来の中頓別町の農業を担う青年女性が主体的に実施するパートナー対策事業に対して、その経費の一部の補助を行いました。

- ・農地基本台帳の整備

農業者の家族構成や農地等の利用調整、農業委員選挙人名簿の審査など農業委員会業務全般の基本となる台帳を整備しました。

- ・農業委員会に関する法律に規定する法令事務及び町からの事務委任業務

農地法に係る法令事務及び町からの事務委任業務を遂行するため、農業委員会総会を9回、農地等調査斡旋委員会を3回、農政担い手委員会を3回開催し、それに伴う事務を実施してきました。

農業者年金業務 **決算額 42万円(38万円)**

農業者の老後生活の安定を図るため、農業者年金への加入促進、受給者への支給手続き等の業務を行いました。

〈農業振興費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

認定農業者支援事業 **決算額 85万円(86万円)**

本町農業の中核的な担い手として、経営規模の拡大や集約化、複合化などによって、魅力ある経営実践を目指す意欲ある農業者を「認定農業者」として町長が認定し、各種の支援を行いました。

- ・農業経営基盤強化資金利子助成事業・・・14戸 85万円

法律に基づいて、積極的な経営を展開する認定農業者が借り入れた「農業経営基盤強化資金（通称：L資金）」に対する利子の助成を行いました。

中山間地域等直接支払制度交付金交付事業

決算額 3,119万円(3,135万円)

中山間地域等における適切な農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産条件に関する不利を補正するための支援を行うこと等により、多面的機能の確保を図るため、農業者が現在耕作している農地の面積に応じて、国費・道費・町費により交付金を交付しました。今年度はコントラクター（農作業委託）に係る耕作機械の導入を実施しているところ です。

農業用施設維持補修事業 **決算額 0万円(18万円)**

農業用施設の維持補修により機能回復を図り、農業の経営の維持と安定を図ることを目指し予算計上していましたが、今年度は補修箇所が生じませんでした。

中頓別町農業体験交流施設（食彩工房「もうもう」、体験農園「オガル」）

管理運営費 **決算額 644万円(648万円)**

中頓別町農業体験交流施設の施設管理運営費です。

- 中頓別町農業体験交流施設の管理の代行のための指定管理料 600万円

- ・管理施設 農産物加工研究施設（食彩工房「もうもう」）
農業体験施設（体験農園「オガル」）

- ・業務の範囲 施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務

- ・指定期間 平成21年4月1日～平成24年3月31日 3年間

- 備品修繕費 44万円

農業振興事業 **決算額 2,593万円(2,582万円)**

農業行政の推進のため、農用地域の管理、農業振興地域整備計画の策定・管理、農業担い手対策の推進、農業関係制度資金などの他、地産地消・農業体験の推進を実施しました。

〈畜産業費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

各種制度資金利子補給事業 **決算額23万円(24万円)**

酪農経営において累増した負債により、経営悪化が余儀なくされている農家に対して積極的に農業経営の改善を図ろうとする者が、必要とする資金の借り入れに対し生ずる利子の一部を負担軽減措置として利子補給を行いました。

中頓別町酪農ヘルパー利用組合運営事業 **決算額 225万円(285万円)**

酪農家の家族の休養・研修・旅行等に完全な休日を取り、経営の安定と生活の向上に資するための事業に対し組合運営費の一部を補助しました。

中頓別町営牧場運営事業 **決算額 387万円(538万円)**

乳用牛の育成部門における飼養労働力の軽減と適期受胎による生産性の向上を図るため適正な運営を行いました。

町営(弥生・神崎)牧場運営業務委託事業

- ・利用料 1頭1日あたり200円
- ・受託期間 5月28日から10月23日 入牧延頭数19,363頭

乳牛共進会関連事業 **決算額 10万円(12万円)**

町内で飼養されている乳用牛(ホルスタイン)の精鋭を一堂に会し、道北ホルスタイン共進会の予選会を行うとともに、農業者相互の親睦を図り、消費者との交流を深め、本町の基幹産業である酪農業への理解を深めることを目的に開催される、中頓別町乳牛共進会の開催経費の一部を負担していました。しかし、今年度は降雨による農作業の遅れから中頓別町の共進会を中止とし、その準備費のみを負担しました。

道北ホルスタイン共進会への出品は農協職員による選考とし出場しています。また、道北ホルスタイン共進会の審査の結果上位入賞を果たしたことから、宗谷管内の代表として北海道ホルスタインナショナルショーへ出品されることとなり、道北ホルスタイン共進会・北海道ホルスタインナショナルショーへ出場するための経費の一部を負担しました。

- ・中頓別町乳牛共進会開催負担金 3万円

※準備費のみ負担する。

- ・道北ホルスタイン共進会出場負担金 5万円

開催日 8月6日 6頭出陣

- ・北海道ホルスタインナショナルショー出場負担金 2万円

開催日 9月12日、13日 1頭出陣

地域交流事業（酪農祭開催事業） **決算額 18万円（18万円）**

基幹産業である酪農を通し、地域住民と交流を図り、畜産・酪農に対する理解を求め、地域農業の発展を全町民が共同の力で築くための事業であり、これに対し開催経費の一部を負担しました。

中頓別町乳牛検定組合運営事業 **決算額 45万円（45万円）**

乳牛の資質向上と経営の合理化を推進するため乳牛群の能力検定を実施し、生産性の向上等酪農経営の体質強化を図ることを目的として活動している団体の運営費の一部を補助しました。

畜産担い手育成総合整備事業 **決算額 1,912万円（1,997万円）**

酪農・畜産業の経営の安定化を図るため、良質な粗飼料の確保と生産性の向上、生産コストの低減を目的とした草地の造成や整備改良及び施設等整備を行いました。

循環農業支援センター管理事業 **決算額 255万円（277万円）**

当該施設を利用組合に無償貸付していますが、施設管理上最低限必要な経費（設備機械の維持管理費用や作業車両の定期点検費など）を支出しました。

畜産振興事業 **決算額 25万円（11万円）**

畜産行政の振興を図るため、畜産関係経費の策定及び管理、家畜衛生対策、家畜糞尿等畜産環境対策に要する経費を支出しました。

〈有害鳥獣対策費〉

（担当：産業建設課産業グループ）

有害鳥獣対策事業 **決算額 59万円（111万円）**

鳥獣による農業被害・生活環境への被害など人畜へ被害を及ぼす有害鳥獣の対策を行い、野生生物との共存できるような施策を講じました。

- ・有害鳥獣報償費 23万円（エゾシカ捕獲102頭、運搬13回）
- ・有害鳥獣等委託料 32万円
- ・その他（消耗品、燃料費等） 4万円
- ◎ ヒグマ有害出動 15回（捕獲頭数0頭、ハンター出動2回）
- ◎ アライグマ有害出動 6回（捕獲頭数5頭）

〈林業振興費〉

（担当：産業建設課産業グループ）

森林保護事業 **決算額 22万円（22万円）**

町有林の保護及び育成を目的として、幼齢林の野ねずみによる被害の未然防止のため植栽後9年間、野ねずみ駆除剤（リンカS1）をヘリコプターにより空中散布します。それに先

立ち野ねずみの生態調査（6月、8月、10月）を実施しました。

○鳥獣害防止施設等整備事業

・事業費 約22万円（補助金 15万円）

森林管理事業

決算額 446万円(285万円)

町有林の作業道の維持補修、保険等、町有林の管理を実施しました。また、森林組合の経営改善のため、出資金を増資いたしました。（出資金増資166万円 1,659口 合計4,000口）

民有林公費造林事業

決算額 55万円(99万円)

森林所有者が実施した造林事業（下刈り）に対して、造林事業補助事業の査定経費の5%を補助しました。

流域育成林整備事業

決算額 1,232万円(1,239万円)

森林の有する多面的な機能の持続的な発揮を図る事を目的とし、町有林の育成のために各種事業（下刈り、除伐、間伐）を実施しました。

- | | | | | | |
|----------|-------------------------------|---------|----------|--------|---------|
| ・敏音知地区 | 除間伐 | 1.60ha | ・豊泉地区分収林 | 除間伐 | 25.70ha |
| ・藤井・豊泉地区 | 下刈 | 37.74ha | ・寿地区 | 下刈 | 6.00ha |
| ・岩手地区 | 下刈 | 25.09ha | ・弥生地区 | 下刈 | 10.87ha |
| ・神崎地区 | 下刈 | 3.60ha | 造林 | 1.30ha | |
| ・中頓別地区 | 団地間伐 | 10.36ha | | | |
| ・事業費 | 1,232万円（補助金878万円、木材売却収益164万円） | | | | |

※人工造林 未立木地・伐採跡地の解消を図るため造林を行う。

下刈 植栽後9年間人工林の健全な成長の促進を目的として、雑草木（笹・草等）の除去を行う。

除間伐 人工林の健全な成長の促進を目的として、適時に支障木・不良木除去及びつる切りを行う。

団地間伐 人工林の健全な成長の促進を目的に間伐を行い、材の搬出を行なう。

絆の森整備事業

決算額 311万円(340万円)

鍾乳洞自然ふれあい公園の森林エリアで、森林公園として機能を有していますが、未立木地が目立ち、森林としての機能が低下している状態にあるので、整備しました。

- | | | |
|-------|-----------------|-------|
| ・事業内容 | 鍾乳洞地区（造林） | 3.3ha |
| | 鍾乳洞地区（下刈） | 3.0ha |
| ・事業費 | 311万円（補助金234万円） | |

21世紀北の森づくり推進事業

決算額 151万円(539万円)

森林機能の活性化を図るとともに、森林資源の充実、森林の有する公益的機能の高度発揮を目的に、森林所有者が実施した造林事業に対し補助するもので、造林面積11haに補助を

行いました。

- ・事業費 151万円（補助金 93万円）

森林整備地域活動支援交付金 **決算額 706万円(690万円)**

近年、林業採算性の悪化による林業生産活動の停滞や、森林所有者の高齢化、不在村化等を背景として、適時適切な森林施業の実施に不可欠な森林の現況の把握、歩道の整備等の活動が十分に行われなくなっています。この結果、間伐等の森林施業が十分に行われない人工林が発生するなど、このままでは国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止等の森林の有する多面的機能の発揮に支障をきたすおそれがあります。

このような状況を踏まえ、森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図る観点から、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業の実施に不可欠な森林現況の調査その他の地域における活動（地域活動）に対して、国費、道費、町費により交付金を交付いたしました。

- ◎ 森林整備協定状況 協定数3協定 89名
- ◎ 地域活動実施状況 作業道整備 7路線 4,503m
- ・事業費 706万円（補助金 523万円）

地域森林管理市町村推進事業 **決算額 25万円(25万円)**

森林の適切な整備を通じた森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、森林整備のための地域における取組みを推進するための措置として、森林所有者に森林整備地域活動支援交付金を交付するための制度普及や交付審査等を実施いたしました。

- ・事業費 25万円（補助金 12万円）

森林作業員長期就労促進事業（負担金） **決算額 15万円(21万円)**

森林労働者の就労の長期化、安定化を促進し、林業労働力の確保に資するため、森林作業員、事業主、町及び道が一定の掛け金を負担し、就業日数が120日以上ある森林作業員に奨励金を支給するもので、森林作業員5名に実施いたしました。

条件不利森林公的整備緊急特別対策事業 **決算額 520万円**

森林の立地等の条件が不利な森林において「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」に基づき、市町村が計画を立てた場合に実施可能な事業であり、森林の間伐と合わせて作業道を整備することができます。本事業は民有林に対する事業でありましたが、平成21年度の単年度のみ市町村でも実施可能となりました。補助額は間伐実施でヘクタール当たり25万円、作業道と合せ行う場合にはヘクタール当たり45万円が交付され、条件が合えば100%補助で実施可能なことから、今年度実施いたしました。

- ・事業内容 中頓別地区 間伐19.36ha 作業道 230m
- ・事業費 520万円（補助金520万円、木材売払収益66万円）

〈林道費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

森林管理道開設事業

森林管理道の開設により、森林所有者等による計画的な森林整備や作業の機械化を図り、木材等森林資源の循環的な利用及び林業経営の安定化を促進します。また、森林の有する多面的な機能である水土保持機能の強化や緑豊かな森林空間の利用の促進を目指し実施いたしました。

森林管理道開設事業 決算額 3,420万円(3,501万円)

○森林管理道弥生線開設事業

(事業期間 平成18年度～平成27年度)

- ・事業費 3,420万円(国補助金1,710万円、道補助金34万円)
- ・事業内容 開設工事 L=491m W=4.0m
- ・施工場所 旭台～中頓別鍾乳洞北側の町有林内。

～事業内容詳細～

本事業は鍾乳洞自然ふれあい公園整備構想に基づく旭台・弥生地区の町有林整備のための森林管理道開設事業です。今年度は、尻無川の横断箇所から弥生の町営牧場方向に約500mまで開設を行いました。

《参考》

道代行森林管理道開設事業 決算額 9,047万円(9,000万円)

○森林管理道菊水線開設事業(平成20年度繰越)

(事業期間 平成2年度～平成23年度予定)

- ・事業費 約4,101万円(国負担分2,050万円、道負担分2,051万円)
- ・事業内容 開設工事 L=240m W=5.0m
- ・施工場所 敏音知～王子製紙株式会社所有の山林の奥。

○森林管理道菊水線開設事業

(事業期間 平成2年度～平成23年度予定)

- ・事業費 約4,946万円(国負担分2,473万円、道負担分2,473万円)
- ・事業内容 開設工事 L=0(434)m W=5.0m
- ・施工場所 松音知～王子製紙株式会社所有の山林の奥。

小規模林道鍾乳洞線環境改良事業 決算額 107万円(101万円)

本事業は、森林居住環境整備事業で整備された路線で、鍾乳洞の管理道として利用された、身障者が利用する遊歩道までの道路にもなっています。しかし、大雨により法面が崩壊し通行に支障をきたしていることから整備(復旧)をしたものです。具体的には、ふれあい公園の管理棟から東側へ約100mの管理道入口付近の法面の保護を行いました。

林道管理事業 決算額 30万円(102万円)

中頓別町で管理している林道施設の維持補修を予定していましたが、補修箇所が生じませ

んでしたので、林道施設管理を実施いたしました。

森林整備加速化・林業再生事業

決算額 110万円

平成21年度に新規に創設された事業であり、m当り5万円の上限で中核的な作業道（林道3級基準）の整備が可能となりました。条件さえ合えば、100%の補助で作業道の整備が可能なことから、平成23年度までの3年間で2路線を実施することとしました。

○中核作業道豊平1号線開設事業

（事業期間 平成21年度～平成22年度）

- ・事業費 約110万円（国負担分110万円）
- ・事業内容 委託業務 L=1300m W=4.0m
- ・委託場所 豊平地区 国有林の林道から町有林内まで

商工費

〈商工総務費〉

（担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ）

中頓別町商工会事業補助

決算額 570万円（570万円）

商工業の振興と地域経済基盤の安定をはかることを目的に、その指導的役割を担う中頓別町商工会に対して、経営改善普及事業と地域振興事業等の経費の一部を助成しました。

- ・経営改善普及事業職員設置費等 570万円

中頓別町中小企業振興資金融資事業

決算額 6万円（6万円）

町内中小企業の育成振興、経営の合理化を促進するため、金融機関に運用資金を預け中小企業者に対し、有利な融資を行っています。融資額は一企業に運転資金、設備資金に対し700万円以内、木材工業関係は、3,000万円以内で、7件（3,834万円）の融資を行いました。設備資金の特例として金融機関からの貸付利率に4分の3を乗じて得た利率で計算した額、2件（6万円）を利子補給しました。

〈観光費〉

（担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ）

中頓別町山村交流施設管理運営費

決算額 1,150万円（1,339万円）

中頓別町山村交流施設（ピンネシリビレッジファームパーク）の施設管理運営費です。

○中頓別町山村交流施設の管理の代行のための指定管理料

884万円

- ・管理施設—ピンネシリビレッジファームパーク〔交流プラザ（道の駅「ピンネシリ」）、オートキャンプ場、ふるさと生活体験館、コテージ〕、砂金掘体験場
- ・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務

・指定期間—平成21年4月1日～平成24年3月31日 3年間

○体験観光インストラクター業務委託料 266万円

・これまで指定管理料に含まれた同業務を分離し、そうや自然学校などと連携して体験観光事業の充実を図りました。

○コテージ外壁塗装工事 0万円

○オートキャンプ場量水器取替 0万円

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園管理運営費 決算額 369万円(358万円)

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の施設管理運営費です。

○中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の管理の代行のための指定管理料 358万円

・管理施設—管理棟、駐車場、指定区域内、外整備施設等

・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務

・指定期間—平成21年4月1日～平成24年3月31日 3年間

○鍾乳洞自然ふれあい公園補修修繕費 11万円

ピンネシリ温泉管理運営費 決算額 1,128万円(1,211万円)

ピンネシリ温泉(ホテル「望岳荘」)の施設運営費です。

○中頓別町ピンネシリ温泉の管理の代行のための指定管理料 800万円

・管理施設—温泉(入浴)施設、宿泊施設

・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務

・指定期間—平成21年4月1日～平成24年3月31日 3年間

○導水管維持管理委託料 125万円

○水質検査料 8万円

○レジオネラ菌等対策(配管、浴槽等) 0万円

○土地貸付料、分湯料(国有林関係) 8万円

○機械設備等点検委託料 54万円

○機械設備修繕料 133万円

観光協会運営事業補助 決算額 535万円(535万円)

観光宣伝、観光イベント、観光客の誘致等幅広い活動を進めている観光協会の事業に対し助成し、町の観光産業の振興を図りました。

○人件費、鍾乳洞まつり、ピンネシリ岳山開き、ピンネシリ岳登山道草刈、観光宣伝事業費等

観光イベントの振興 決算額 87万円(87万円)

町民と観光客に楽しんでもらう各種イベントに助成しました。

- ・北緯45度夏まつり 18万円
- ・北緯45度度しばれまつり 69万円

ライダーハウス開設事業 決算額 3万円(3万円)

中頓別町の観光PRやイベントの参加、町民とのふれあいの場を持つことによる地域の活性化を目指すため、ライダー等の無料宿泊所を開設しました。

南宗谷観光連絡推進協議会負担金 決算額 1万円(4万円)

南宗谷4町村で構成する連絡推進協議会で構成町が連携及び緊密な情報交換を通して観光の振興と観光資源の整備促進を図りました。

観光振興事業 決算額 50万円(40万円)

道の駅を観光の拠点として、観光客の入りこみ増につなげるため、体験観光や様々なイベントを実施しました。

ピンネシリふれあい広場管理事業 決算額 19万円(19万円)

道の駅、ピンネシリ温泉の周辺にある広場で、建物の維持管理や広場の環境美化に関する業務を委託しました。

地域資源調査活用事業 決算額 72万円

緊急雇用創出推進事業を活用し、町内の動植物生態と分布調査を行い、中頓別町自然ガイドブック「ぐるり散歩道」作成の情報収集と整理を実施しました。

土木費

〈道路維持費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

道路台帳整備業務 決算額 48万円(50万円)

道路台帳は、町道を管理するために必要な道路の現況や用地を確認するため、また、道路の維持管理に要する費用として交付税措置がなされるため、図面及び調書を整備するために必要な台帳整備です。

- ・ 毎年、道路工事などで変更が生じた分を修正します。

除雪・排雪業務 決算額 2,908万円(2,939万円)

冬期間の快適な生活環境づくりのために、町道や公設駐車場などの除雪・排雪業務を行います。

道路維持補修事業 決算額 336万円(470万円)

- ・舗装道路補修費 除雪で傷んだ町道の舗装補修などを行います。 100万円
- ・原材料費 未舗装道路の補修に使用する砕石、ダスト、道路側溝トラフやコンクリート管などを購入します。 16万円
- ・道路区画線補修 町道における歩行者及び交通車両の安全を確保するために、センターラインや外側線などを補修します。 42万円
- ・町道の草刈りや未舗装道路の砂利敷き、路面整正などを行います。 158万円

トイレ清掃委託業務 **決算額 30万円(32万円)**

上駒駐車場のトイレ清掃を委託し、いつも清潔な状態を保ちます。

道路照明灯維持事業 **決算額 125万円(136万円)**

歩行者及び車両通行の夜間の安全性確保のために設置している、道路照明灯 143 基分（町道 20 路線）の電気使用料及び維持管理費用を計上しています。

〈橋梁維持費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

橋梁維持費 **決算額 0万円(10万円)**

執行はありませんでした。

〈道路新設改良費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

町道の整備事業 **1億5,000万円(国費 8,410万円)**

本年度は、国庫補助事業・起債事業として継続分 2 路線、交通安全事業として新規 1 路線の整備を行います。

町道 8 丁目線交通安全事業

改良工事 長さ=188m

舗装工事 長さ=188m

歩道工事 長さ=188m

照明工事 照明灯 2 基

測量試験費

※裁判所前から小学校入口までの区間

町道中頓別弥生線交付金事業

改良工事 長さ=100m

舗装工事 長さ=325m

※旧ゴミ処分場から国道に向かって約 1 km までの区間

町道 1 条通り線道路整備事業

改良工事 長さ=190m

舗装工事 長さ=190m

歩道工事 長さ=190m
照明工事 照明灯4基
測量試験費、水道移転補償費
※大畑さん宅の前から西団地（高齢者住宅）までの区間

〈河川総務費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

樋門・樋管管理委託業務 **決算額 57万円(46万円)**

河川の洪水・氾濫等によって災害が発生しないように、稚内土木現業所が管理している2級河川の頓別川、兵知安川にある30ヶ所の樋門・樋管の操作や管理を委託します。

河川維持事業 **決算額 0万円(21万円)**

普通河川の支障木伐採や河床に堆積した砂利撤去等の維持管理経費を計上しています。

〈旭台公園費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

旭台公園管理 **決算額 25万円(25万円)**

旭台公園の維持管理のため旭台自治会に公園の維持管理を委託しました。また、公園遊具の安全性について調査を実施しました。

- ・維持管理業務委託料 19万円
- ・遊具修繕調査委託料 3万円
- ・光熱水費 3万円

〈住宅管理費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

公営住宅などの管理費 **決算額 683万円(782万円)**

- 住宅の修繕・維持管理にかかる費用
- 平成21年4月1日現在の管理戸数 306戸
- ・公営住宅 287戸

〈住宅建設費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

住宅建設促進事業 **決算額 52万円(295万円)**

- 住宅建設促進助成金の執行はありませんでした。
- 住宅建設促進貸付金利息補助額 52万円

消防費

〈消防費〉

(担当：南宗谷消防組合中頓別支署)

救急救命士病院実習 決算額 17.9万円(22.1万円)

救急救命士(3名)が、救急救命処置に関する知識と技術の向上を目的に研修しました。

救急救命士養成 決算額 247.5万円(242.5万円)

高度な救急処置に対応するため救急救命士を養成し国家試験に合格しました。

消防学校救急標準課程 決算額 21.5万円(19.7万円)

救急隊員に必要な知識と技能を修得するため派遣しました。

消防車用冬用タイヤ購入 決算額 29.9万円(29.9万円)

劣化したスタッドレスタイヤを更新しました。

救急用備品購入 決算額 19.6万円(20.1万円)

救急現場で適切な対応処置を実施するために購入しました。

第3分団サイレン塔修繕 決算額 84万円(87.7万円)

劣化したサイレン塔を修繕しました。

全道火災予防運動

春と秋の火災予防運動を実施し火災予防を呼びかけました。

初日、最終日には職員による車輛パレードを実施しました。

・春季運動期間 4月20日～4月30日

・秋季運動期間 10月15日～10月31日

救急の日(9月9日)

毎年9月9日は「救急の日」です。これに伴い救急の日記念ゲートボール大会を防犯協会と共催しました。

また、応急処置の講習会も開催し、救急業務に対する町民みなさんのご協力とご理解をお願いしました。

119番の日(11月9日)

毎年11月9日は「119番の日」です。災害発生時における消防への通報訓練を事業所、商店、町民のみなさんをお願いして訓練を実施しています。又、町民の要請と期待に答えるよう「出動、放水、救助訓練」を実施し万全を尽くしました。

教育費

〈教育委員会費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

教育委員会事業

決算額 82万円(86万円)

教育委員会議の開催状況

- ・定例会議 12回
- ・臨時会議 2回

学校訪問

学校の重点的な取組や授業参観などを中心に訪問しました。

- ・中頓別小学校 平成21年12月10日 10時30分から13時
- ・中頓別中学校 平成21年12月10日 13時30分から15時

教育委員研修

- ・道市町村教育委員研修(札幌市)平成21年7月8日～9日 委員4名 事務局1名
- ・管内教育委員研修(浜頓別町)平成21年10月5日～6日 委員3名 事務局1名

〈事務局費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

教育委員会事務局事業

決算額 6,827万円(6,791万円)

教育委員会の補助機関として教育委員会事務局が設置され、教育委員会の職務権限に属する事務を具体的に処理するため、事務局職員の給料や事務に要する経費に充てられました。

公用車両維持管理事業

決算額 185万円(216万円)

スクールバスと事務局の自家用車の維持管理に要する経費に充てられました。

通学路運行 2路線(スクールバス3台)

- ・神崎、兵安、豊泉方面 4名 主にワゴンバス運行
- ・秋田、小頓別、上頓別、豊平、敏音知、藤山、松音知方面 8名 主にマイクロバス運行

※登校時は2便、下校時は小学校2便、中学校2便で運行しました。

長距離授業等移動運行

- ・校外での遠距離学習、管内スポーツ・文化等大会、社会見学、スキー授業等の移動のために運行しました。

教育研究指定校委託事業

決算額 10万円(10万円)

特色ある学校経営の活動について研究し、その結果を集約し研究紀要として各学校へ配布し、教育効果を高めることを目的として委託しました。

- ・中頓別小学校 平成18年度から3年間で取り組んだ研究主題「生き生きと学び、表現する子どもの育成をめざして～個を育てる国語科の学習を通して～」を土台とし

て、各教科での授業づくり、そして日常的な学級づくり・縦割り班活動での集団づくりにも生かしていこうということで、その成果・現研究主題のもとでの昨年度の成果と課題をふりかえり、22年度の授業研究に生かしていくための研究成果をまとめました。

・中頓別中学校 「学ぶ意欲を育み、主体的に行動できる生徒の育成を目指して～生徒が主体となる個に応じたきめ細やかな指導を通して～」を研究主題に位置づけ、平成19年からの2ヵ年の研究内容、成果を振り返り、まとめの年度として研究成果をまとめました。

児童生徒校外指導業務委託事業 **決算額 15万円(15万円)**

町内の児童生徒の校外における健全育成を図るため、各学校間及び関係機関の連携を密にし、指導を行っている生徒指導連絡協議会に委託しました。

- ・長期休業中の過ごし方のパンフレット全町配布（夏休み、冬休み、春休み）
- ・中頓別神社祭典巡視活動 7月22日、23日
- ・食育講演会（後援事業） 8月25日 「家のごはんで子どもが変わる」
講師 北海道文教大学 管理栄養士 木藤宏子さん
- ・講演会 2月23日 「ネット犯罪に巻き込まれないために」
講師 枝幸警察署生活安全課 堀川係長

学校等施設整備事業 **決算額 109万円(109万円)**

学校及び学校給食センターの消防設備や暖房などを安全に管理するため、管理点検が必要な業務を委託しました。

- ・消防設備点検業務委託料（小学校、中学校） 株式会社ベルックス
- ・電気保安管理委託料（小学校、中学校） 財団法人北海道電気保安協会
- ・暖房設備点検業務委託料（小学校） 大洋設備株式会社
- ・危険物選任業務委託料（小学校、学校給食センター） 佐竹義喜
- ・高架水槽清掃業務委託料（小学校） 大洋設備株式会社
- ・地下タンク及び配管微加圧検査業務委託料（小学校） 村上油掃株式会社

教職員健康診断事業（人間ドック） **決算額 5万円(12万円)**

教職員の健康の保持増進及び病気の早期発見等につなげるため35歳以上54歳までの職員の間人間ドック受診者4名の設置者分として負担しました。

各種協議会補助等事業 **決算額 124万円(113万円)**

教育委員会が加入している管内の協議会等の負担及び町内の各団体等の補助に要する経費に充てられました。

- ・管内社会教育委員連絡協議会負担金
- ・管内体育指導員連絡協議会負担金

- ・管内生涯教育推進協議会負担金
- ・学校体育連盟運営補助金
- ・スポーツ少年団本部運営補助金
- ・挨拶運動推進会議運営補助金
- ・北緯45度ふれあい広場運営補助金
- ・中頓別町教育研究会運営補助金
- ・道内教育委員会連絡協議会負担金
- ・中頓別小学校創立100周年記念協賛会補助金

特別支援教育連携協議会委託事業 **決算額 14万円(14万円)**

発達障害を含めた障害のある子どもに必要な支援を行うため、関係機関が横断的に連携する協議会に運營業務を委託しました。

- ・総会 4月24日
- ・学習会 7月2日 「コーディネーターの役割と地域との連携」
名寄市特別支援コーディネーター会議委員長 谷 昌文先生
- ・視察研修 8月5日 名寄市総合療育センター
- ・講演会 9月29日 「障がい者福祉の現状とサロベツマイハートの施設づくり」
講師 サロベツマイハート施設長 二浦 東興 氏
- ・各団体の交流 12月7日 こども館、小中学校、天北厚生園
- ・役員会 年間5回

〈住宅管理費〉

教職員住宅管理事業 **決算額 50万円(78万円)**

教職員住宅21戸の修繕に要する経費に充てられました。

〈学校管理費〉

小学校施設維持管理事業 **決算額 971万円(1,109万円)**

児童が快適・安全に学校生活を送れるよう小学校施設の維持管理に要する経費に充てられました。

中学校施設維持管理事業 **決算額 820万円(815万円)**

生徒が快適・安全に学校生活を送れるよう中学校施設の維持管理に要する経費に充てられました。

特別支援教育支援員配置事業 **決算額 104万円(107万円)**

複数の障害種別に対応した教育を行うことができる特別支援教育の制度が創設(平成20年度から)され、障害による学習上又は生活上の困難を克服するため中頓別小学校の求めに応じて特別支援教育支援員を1名配置しました。

学校管理備品購入事業 **決算額 96万円(18万円)**

中頓別小学校の図書室の椅子及びコピー機が修理不能となったため更新しました。

児童生徒健康診断委託事業 **決算額 69万円(77万円)**

児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見のため、内科・歯科・心臓検診、尿検査、ギョウ虫卵検査を実施しました。

児童生徒巡回健診事業 **決算額 15万円(22万円)**

児童生徒の健康保持増進及び病気の早期発見のため、脊柱側彎検診(毎年)、耳鼻科検診(3年に1回)を実施しました。

教職員巡回健康診断委託事業 **決算額 15万円(40万円)**

教職員の健康保持増進及び病気の早期発見のため、健康診断を実施しました。

栄養教諭を中核とした食育推進事業 **決算額 72万円**

近年、食生活を取り巻く社会環境の変化などに伴い、朝食欠食などの生活の乱れや肥満傾向の増大などが見られるところであり、望ましい食習慣の形成が課題となっています。このことから教職員間の連携及び家庭、地域の連携の要となる栄養教諭が中心となって取り組むことや、学校給食を生きた材料として活用を図ること、地域の連携のあり方、家庭や地域への普及啓発の方策などについて実践研究を行いました。

学校ICT環境整備事業 **決算額 1,083万円**

平成23年7月のテレビ放送の完全デジタル化に対応するため、学校に設置されているアナログテレビの買い換え等による視聴できる環境の整備、IT新改革戦略による政府目標の達成に向けて、教育用及び校務用のパソコン等の整備など、学校ICT環境の整備を行いました。

体育館耐震診断委託事業 **決算額 173万円**

中頓別中学校体育館は昭和44年に改築され、40年が経過していることから、耐震診断を実施しました。

〈教育振興費〉

小学校教育振興事業 **決算額 78万円(88万円)**

児童に対する教育活動において必要となる教育資材等を購入しました。

中学校教育振興事業 **決算額 91万円(117万円)**

生徒に対する教育活動において必要となる教育資材等を購入しました。

就学奨励事業**決算額 71万円(110万円)**

経済的な理由によって就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して必要な援助を行いました。

区分	小学校		中学校	
	人員	給与額 (円)	人員	給与額 (円)
学用品費	6	62,780	3	73,810
新入学児童・生徒学用品費	2	21,558	2	45,800
修学旅行費	1	17,686		0
体育実技用具費	2	50,600	2	72,600
給食費	6	201,811	3	161,856
合計	6	354,435	3	354,066

※ 体育実技用具費 3年に1回(小学校1年、4年、中学校1年)

総合的な学習の時間取組事業**決算額 13万円(20万円)**

総合的な学習の時間にかかる教材を購入しました。

教育備品購入事業**決算額 30万円(118万円)**

学校図書の充実を図るため、図書を購入しました。

〈社会教育総務費〉**学習機会提供事業****決算額 17万円(47万円)****幼少年への学習機会提供****決算額3万円(9万円)**

- ・子どもオセロ大会 11月16日 小学生35名
- ・子どもカルタ教室 1月7日～9日 延べ180名
- ・子どもカルタ大会 1月10日 小中学生 21チーム 63名
- ・少年の主張宗谷支庁地区大会 7月1日 中学生1名
- ・ジュニアリーダーコース派遣(大雪青少年交流の家) 6月27日事前研修 中学生1名
- ・そらや自然学校体験活動

[こども館支援]

- ・認定こども園・春探し、押し花づくり 6月23日 3～5歳児 18名
- ・児童クラブ・親子レク 8月1日 小学生、保護者 30名
- ・児童クラブ・川遊び 8月6日 小学生 17名
- ・認定こども園・酪農体験 9月18日 5歳児 14名
- ・認定こども園・親子でクッキング 10月17日 幼児、保護者 40名
- ・認定こども園・雪遊び 3月4日 3～5歳児 33名

[中頓別いいところ探し隊]

- ・バードウォッチング 5月16日 小学生7名

- ・ピンネシリ登山 6月21日 小学生6名
- ・地域ふれあい子どもキャンプ（連携事業） 7月25～27日 小学生14名
- ・砂金体験 8月14～15日 小学生16名
- ・もちつき体験 12月26日 小学生、保護者、地域 36名
- ・雪遊び 2月13～14日 小学生、保護者 22名

青年、成人、女性等への学習機会提供 決算額7万円(20万円)

- ・成人式 1月5日 15名
- ・英会話教室 日中：週2回（火・金曜日午後）、夜間：週1回（木曜日）
- ・カンフー教室 夜間：週1回（水曜日）
- ・女性学級 上駒女性学級 町外研修、料理学習、町事業への参加

高齢者(寿大学)への学習機会提供 決算額7万円(18万円)

- ・入学式並びに始業式 4月10日 72名
- ・教養講座 5月28日43名、7月30日21名、8月27日21名、11月10日23名
- ・町外視察研修 7月13日、7月21日 遠別町（旭温泉他） 64名
- ・学校祭 10月31日 文化祭に合わせて開催（作品展示、芸能発表）
- ・修学旅行 12月3日～4日 美瑛、旭川方面（男山酒造、旭山動物園他） 16名
- ・健康づくり講座 2月10日 「私の相撲人生」講師舞の海秀平氏 77名
- ・卒業式並びに修了式 3月25日 70名

芸術文化振興事業 決算額 88万円(90万円)

児童生徒及び町民に優れた芸術鑑賞機会を提供するとともに、文化祭等において、町内文化団体・サークルの育成と発表機会の拡充を図りました。

芸術鑑賞機会の提供 決算額78万円(80万円)

- ・巡回小劇場 ハックルベリーフインの冒険 9月16日150名
- ・町民芸術鑑賞会 札幌交響楽団弦楽アンサンブル演奏会 10月3日200名

文化芸術への積極的参加 決算額10万円(10万円)

- ・町民文化祭 10月30日～11月1日 一般作品展示、一般芸能発表等
- ・子ども芸能発表会 10月30日
- ・文化スポーツ表彰 10月31日 文化功労賞1個人、スポーツ奨励賞特別表彰3個人

団体の育成と活動の充実

- ・文化協会加盟団体（14団体） やまなみ吟社（俳句）、日本詩吟学院学風会北北海道学風会中頓別支部、日本習字中頓別支部、太田社中（茶道）、茶道サークル、東海林社中（華道）、陶芸サークル、絵手紙クラブ、白百合会、あかねカラオケサークル、知足会（茶道）、しあわせカラオケ会、彩北絵画クラブ、寿大学カラオケサークル

外国青年招致事業（英語指導助手） 決算額 375万円(387万円)

こども館、小中学校、地域の英会話サークルなど、語学教育の充実を図るとともに、地域国際交流の推進に努めました。

- ・中学校 コミュニケーション英語の指導 毎週水曜日午前、午後
- ・小学校 総合的な学習の時間等での英語指導 毎週木曜日午前、午後
- ・こども館 ボーセン先生と英語であそぼう 毎週火曜日午前
- ・英会話教室 毎週火曜日午後、木曜日夜間、金曜日午後
- ・異文化交流事業 クリスマスコンサート 12月12日礼文町、12月16日長寿園、
12月19日厚生園、12月20日大法寺

各種会議研修派遣事業

決算額 20万円(14万円)

生涯学習やまちづくり団体・サークルが自主的に活動をするため、各種研修会や会議に派遣し、生涯学習活動やまちづくり活動を推進する指導者の養成や団体、サークルの育成を推進するための経費に充てられました。

- ・管内社会教育指導班会議 第1回4月9日、第2回10月15日、第3回12月17日、
第4回3月24日 稚内市 各1名
- ・管内社会教育主事会役員会 第1回4月9日、第2回2月25日 稚内市 各1名
- ・管内社会教育委員連絡協議会総会 4月28日 稚内市 1名
- ・管内社会教育主事等研修会 第1回5月20日、第2回10月1日 稚内市 各2名
- ・全道社会教育主事等研修会 6月3日 札幌市 1名

学校支援地域本部事業

決算額 126万円(178万円)

地域全体で学校教育の支援を行う学校支援地域本部は、地域教育協議会、地域コーディネーター、学校支援ボランティアなどで組織し、学校支援の推進、地域コーディネーター及び学校支援ボランティアを配置し、広報啓発活動・人材バンクの整備及び派遣調整を行いました。

学校支援地域本部事業

- ・実行委員会議（地域教育協議会） 第1回 8月6日、第2回1月22日
- ・地域コーディネーター 学校とボランティア間の連絡調整等
- ・学校支援ボランティア（生活職人） 14団体、59個人
- ・学校支援地域本部事業報告会 2月26日 36名

小学校支援

- ・総合的な学習の時間「中頓別探検隊」小学3～6年生 58名
昔の生活を知ろう 6月17日、18日、19日、22日 生活職人延べ41名
追探検 8月31日 生活職人10名
やまご編 9月14日 藤井地区 生活職人3名
- ・中頓別小学校創立100周年記念風あげ 10月19日、20日、27日、29日 全児童 生活職人1名
- ・小学2年生生活科町たんけん 11月12日 16名
- ・3年社会科「酪農で働くひとたち」 12月18日 18名 生活職人3名
- ・スキー授業 1月21日～2月16日 全児童 生活職人4名
- ・中農高解体見学 1月29日、2月1日 全児童 生活職人1名

- ・小学5年生総合的な学習 3月15日 5年生15名

中学校支援

- ・中学3年生宿泊レクサポート 7月27～28日 11名
- ・2年学級レク活動「魚釣り体験」 8月1日 16名 生活職人3名
- ・親子ふれあい広場「そば打ち体験」 11月3日 生徒・保護者 生活職人3名
- ・3年総合的な学習の時間「チーズづくり体験」 11月25日 11名 生活職人1名
- ・巡回相談活動「地域ルーム」 毎週木曜日 コーディネーターの派遣

社会教育推進事業

決算額 25万円(43万円)

社会教育委員、文化財保護委員の報酬及び社会教育車両（ワゴン車）の維持管理に要する経費に充てられました。

〈町民センター費〉

町民センター運営維持管理事業

決算額 803万円(1,318万円)

地域住民のコミュニティ活動等の拠点として利活用と施設の維持管理に要する経費に充てられました。

〈社会教育施設費〉

社会教育施設運営事業

決算額 337万円(391万円)

郷土資料館・青少年柔剣道場維持管理 決算額243万円(290万円)

郷土資料館、図書館、柔剣道場の利活用と施設の維持管理に要する経費に充てられました。

図書室蔵書の整備

決算額89万円(90万円)

子どもからお年寄りまで利用しやすい生涯学習の拠点としての図書室の充実を図るため、計画的に蔵書を整備しました。

- ・児童図書 279冊
- ・一般図書 302冊

ブックスタート

決算額2万円(4万円)

赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくり、絵本を開く楽しい体験となるように、絵本などが入ったブックスタート・パックを手渡しました。町に生まれたすべての赤ちゃんと保護者を対象に、乳幼児健診の時に「いきいきふるさと推進事業」と同時に実施しました（年4回）。

- ・ブックスタートパック 9セット配付

学習機会の提供

決算額3万円(7万円)

本と楽しく出会い豊かな時間をたくさん過ごして頂くために、絵本講演会や読み聞かせ研修会を実施しました。

- ・絵本講演会 2月25日 「絵本はもっとおもしろい」 講師 岸田典大氏
- ・読み聞かせ研修会 6ヶ月児健診、1歳児健診、1歳半児健診、3歳児健診 年4回

〈多目的集会施設費〉

多目的集会施設維持管理事業

決算額 65万円(76万円)

小頓別地区の住民活動の場として活用している多目的集会施設の維持管理に要する経費に充てられました。

〈創作活動施設費〉

創作活動施設維持管理事業

決算額 36万円(51万円)

町民の芸術文化の意識高揚を図る場として活用している創作活動施設の維持管理に要する経費に充てられました。

〈保健体育総務費〉

学習機会提供事業

決算額 49万円(59万円)

町民のスポーツ振興のため、スポーツ団体やサークルと連携協力のもと、各種スポーツ教室・大会を開催しました。

〔教室関係〕

- ・少年少女スキー教室の開催 1月7日～9日 55名 指導者14名
- ・一般スキー教室の開催 1月～2月 7日 8名 指導者4名
- ・歩くスキー教室の開催 1月～2月 5日 11名 指導者2名

〔大会関係〕

- ・町民パークゴルフ大会 5月10日 52名
- ・町民ソフトボール大会 7月12日 5チーム 57名
- ・夏休みラジオ体操会 7月25日～8月3日 会場小学校
- ・夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会 7月29日 約500名
- ・町民駅伝競技大会・小学校マラソン大会 9月6日 駅伝26チーム104名、小学校マラソン1, 2年生30名
- ・町民ソフトミニバレーボール大会 2月26日 7チーム28名
- ・宗谷管内ジュニアアルペン競技大会 1月11日 40名
- ・町民スキー大会 3月7日 スキー競技44名 歩くスキー14名
- ・春の歩くスキー遠足 4月5日 14名
- ・室内ゲートボール大会 3月20日 4チーム25名

団体育成事業

決算額 14万円(24万円)

スポーツ活動を通して、健全な心と体を培うとともに、スポーツ団体の育成と活動の充実に努めました。

スポーツ少年団本部活動

剣道(8名)、野球(7名)、卓球(9名)、柔道(17名)の各少年団の活動を支援

- ・結団式及び体力テスト会 5月9日 25名
- ・秋の体力テスト会 10月17日 30名
- ・解団式 3月20日

体育連盟の加盟団体(10団体) サッカー協会、バスケット協会、バレーボール協会、

スキー協会、走友会、パークゴルフ協会、ゲートボール協会、野球連盟、剣道連盟、柔道連盟

スポーツ振興事業 **決算額 46万円(76万円)**

スポーツ団体サークルが自主的・自発的にスポーツ活動を継続するために、研修や会議などの機会提供とスポーツ巡回車の維持管理等に要する経費に充てられました。

施設維持管理事業 **決算額 60万円(74万円)**

学校クラブ活動や町内で活動しているスポーツ団体やサークル、愛好団体の活動の場所として利用されている町民体育館の維持管理に要する経費に充てられました。

〈山村プール費〉

山村水泳プール維持管理事業 **決算額 120万円(146万円)**

学校授業や一般町民の健康体力づくりのために開設している山村水泳プールの維持管理に要する経費に充てられました。

〈寿野外レクリエーション施設費〉

社会教育施設等管理運営事業 **決算額 1,791万円(1,794万円)**

社会教育施設等（寿スキー場、ふれあいスポーツ広場、テニスコート、パークゴルフ場、ゴルフ練習場、青少年宿泊研修センター、寿公園）の管理は有限会社中頓別振興公社が指定管理者として管理の代行を行いました。

〈学校給食費〉

学校給食事業 **決算額 895万円(1,008万円)**

児童及び生徒の心身の健全な発達をはかるため、学校給食法に基づく学校給食センターの管理運営に要する経費に充てられました。

特別会計

国民健康保険事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

国民健康保険事業 **決算額 3億3,565万円(3億414万円)**

国民健康保険とは、日本に住む誰もが安心して医療を受けることができる「国民皆保険制度」を維持しており、病気やケガをしたとき、安心して病院にかかることができるように医療費の一部を国と国保加入者のみなさんが負担（保険税）しあう制度です。

医療給付事業 **2億1,414万円**

疾病時の入院や入院外（外来受診）の医療費を支出します。

高額医療費 **2,143万円**

1ヶ月の医療費の患者負担分（一部負担金）が高額になったときに、限度額を超えた分

が高額療養費として、支給されます。

後期高齢者支援金 2, 988万円

後期高齢者に対する支援分です。

前期高齢者納付金 8万円

老人保健拠出金 398万円

介護納付金 1, 219万円

平成20年度第2号被保険者納付見込み額を納付します。

共同事業拠出金 3, 692万円

出産育児一時金 0万円

葬祭費（1人 1万円） 4万円

保健事業費 198万円

特定健診を実施し、病気の早期発見と予防事業に係る経費を支出します。

直進勘定繰出金 678万円

病院の医療機器設備等に関する費用を助成します。

返還金 514万円

退職者医療交付金平成20年度精算による返還金

総務費及びその他諸支出金 309万円

一般事務費（電算処理委託含む）

老人保健事業特別会計

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

老人保健事業 決算額 251万円（131万円）

老人保健事業制度は、平成20年度から後期高齢者医療制度に移行されましたが、移行前の期間における月遅れ医療費等の必要経費を計上しています。

平成21年度の主な支出は、平成20年度分の支弁額（医療費）確定に伴う超過額の返還金2, 473千円となっています。

後期高齢者医療事業特別会計

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

後期高齢者医療事業 決算額 2, 302万円（2, 671万円）

後期高齢者医療事業は、老人保健事業に替わる制度で75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障害のある方が加入する医療保険制度です。

全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が設立され事業の運営にあたります。

市町村の役割は、保険料の徴収、各種申請や届出の受付、被保険者証の引渡しなどの業務を行ないました。

水道事業特別会計

(担当：産業建設課建設グループ)

簡易水道事業 決算額 7,882万円(7,625万円)

水道は清浄な水道水を供給する生活環境施設として重要な役割を担っています。

本年度につきましては、水道施設等の維持管理を重点に予算計上し、豊富で清浄な水道水を造り、経営の健全化に努めてまいりました。

下水道事業特別会計

(担当：産業建設課建設グループ)

下水道事業 決算額 1億1,532万円(1億2,107万円)

下水道事業は、公共水域の水質保全と快適な生活環境づくりとの重要な役割を担っております。

本年度につきましては、下水道施設の維持管理を重点に予算を計上し、よりよい環境づくりとより効率的な施設管理に努めてまいりました。

介護保険事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

介護保険事業 決算額 1億7,100万円(1億9,123万円)

介護保険は平成21年4月から新たに第4期がスタートし、それにともない介護保険料の見直しを行いました。被保険者の負担増とならないようこれまでと同額で据え置くこととしました。また、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域支援事業を行い、さらに要支援状態、要介護状態となった高齢者への介護保険サービスを推進してきました。

介護保険事業(平成22年3月31日現在)状況は次のとおりです。

総人口	2,013人
40歳以上人口	1,401人
65歳以上人口	707人
第1号被保険者数	678人
要介護(要支援)認定者	127人
居宅介護(介護予防)サービス受給者	703人(延利用者数)
施設介護サービス受給者数	32人

国民健康保険病院事業会計

(担当：国保病院)

医療機械器具等整備事業 決算額 1,037万円(1,135万円)

住民の皆様により良い医療サービスを提供するため、老朽化、故障した医療機器等を更新いたします。

- ・ホルター心電計
- ・呼吸機能検査装置

- ・眼底カメラ
- ・移動型 X 線装置
- ・ベッドサイドモニター
- ・ギャジベッド
- ・診察台
- ・除雪機
- ・一酸化炭素ガス分析装置

医師住宅整備事業

決算額 1, 726万円

築後25年以上経過し、老朽化が著しい医師住宅を新築しました。

- ・医師住宅 1戸
- ・医師住宅用車庫 1台
- ・医師住宅用ゴミステーション 1台